

かねざわ

第61号

平成29(2017)年5月

- 新年度を迎えるにあたって (P-2)
- 分科会 今年度方針 (P-4~P-9)
- 第12回 公開 歴史講座 「能と金沢」 (P-11)



次

わ”の会方針

- 2 新年度を迎えるにあたって
“わ”の会代表 内田孝知

分科会 今年度方針

- 4 「寺社を巡る会」 代表 吉田寿紀
- 5 「ふれあいの道歩こう会」代表 江口正彦
- 6 「懐かしの映画を観る会」代表 佐藤 晃
- 8 「浮雲俳句会」 代表 北野清市
- 9 「パソコンを使いこなす会」代表 林 洋

運営委員 新任・退任の挨拶

- 10 運営委員 新任の挨拶 鶴岡重典
- 10 運営委員 退任の挨拶 瀬川健次
- 10 運営委員 退任の挨拶 柴土一廣

学習会

- 11 第12回 公開会歴史講座 「能と金沢」

運営委員会からの報告

- 16 「フォーラム KANAZAWA
2017」に参加

分科会からの便り

- 17 「寺社を巡る会」活動記録
平成28年度 第9回~11回
- 20 「懐かしの映画を観る会」鑑賞録 No22
佐藤 晃
- 27 「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No17
江口 正彦
- 30 「浮雲俳句会」 抄録 No37
北野 清市
- 35 パソコン何でも相談室 【11】
林 洋

歴史研究

- 37 「日本開国と北方領土」 真田 雅行

行事予定

- 42 6月~8月



金沢区生涯学習 “わ” の会

ホームページ:<http://kanazawa-wanokai.in.coccan.jp/>
メー ル:yokohama.kanazawa.wanokai@gmail.com

“わ”の会方針

『新年度を迎えるにあたって』

“わ”の会 代表 内田 孝知

【挨拶】

爽やかな風がそよめく5月となりました。会員の皆様は寒さ厳しい冬を物ともせず乗り切れ、春の桜を楽しみ、この青葉繁る心地良い季節を迎えられた事と思います。

私は代表に就任して2年目、気持ちを新たにしていきたいと思いますので、ご協力宜しくお願いします。

当会は平成11年(1999年)5月、会員数61名でスタートし、来年度20年目を迎えます。この節目に向かって20周年記念事業の一つとして「かねざわの歴史事典」の第3版を編集していることは皆様ご存知の事と思います。この事に加えて幾つかの記念行事を計画しています。皆様のご参加とご協力をお待ちしています、宜しくお願いします。

なお会員数につきましては、毎年120名前後で推移しており、継続率はお陰様で90%超です。沢山の方に継続して頂けるという事は、会の継続と発展に繋がります。今後共宜しくお願い致します。

【平成28年(2016年)度】

当会の一番の行事であります学習会ですが、総会の後の第1回が2014年/高橋好一氏、2015年/小俣悦男氏、2016年/太田耕藏氏、2017年の今年は伊澤尚氏と自前の講師で開催出来ます事は当会が充実している事の証と皆様誇りを感じて頂ければ幸いです。

また6月、7月は「時代区分を明確にして歴

史を遡る」では3年6回に亘り細川講師にエネルギーな講演をして頂きました。

8月は横浜3番目の国宝に登録となった「称名寺聖教・金沢文庫文書」をテーマに2年続いている県立金沢文庫道津主任学芸員の講演でした。9月は又も会員の熊谷哲氏の講演、当会の層の厚さを感じられる一日でした。

10月の探訪は「杉田界限を巡る」でこれも自前の探訪実行委員会の頑張りでも無事遂行出来ました。11月は12回目となる盛本昌広氏の「武蔵七党の系譜」で5月からの7回の学習会、2月の公開歴史講座は新しい講師の高橋悠介氏の「能と金沢」と、沢山の会員の方々の参加を得て、1年間無事終了、運営委員一同、やり終えて達成感を感じた瞬間でした。

今年度は分科会の長兄である「寺社を巡る会」が設立15周年、記念行事として2月に鎌倉ガイド協会より講師を招き、15年の歩み、その後の祝賀会で来し方を振り返った1日でした。

【平成29年(2017年)度】

冒頭のご挨拶でも述べました様に来年度20年目を迎えます。

その事に向けて20周年記念事業実行委員会を発足させ、準備を進めています。

20周年記念事業の準備・仕掛けをやり遂げる事が今年度の最大のテーマです。

ご協力宜しくお願いします。

学習会、公開歴史講座、6つの分科会活動は従

来通り進めます。

【学習会】

学習会の充実が運営委員会の最大の仕事です。5月の総会終わり次第、次年度の学習会のテーマの検討に入ります。学習会の基本は金沢の歴史に軸足を置いた内容にする事です。学習会の基本テーマとして平成28年度は「南北朝」周辺を学習しました。草色の別紙「平成29年度(2017)学習会予定」をご覧ください。今年度の6月、7月はいよいよ室町時代に入り、講師は初登場の呉座勇一氏です。歴史書としてベストセラーとなった「応仁の乱」の著者です。時間帯は昨年と同じ午後です。9月は玉縄北条氏、10月探訪は9月のテーマの関連深い新装なった小田原城です。11月は江戸時代の海運、2月は武州金沢藩の財政と地元に着したテーマです。以上 ご期待下さい。

【会員状況】

継続会員は男性98名、女性16名
計114(←122名)継続率93.4%
新入会員は男性4名、女性2名 計6名
平成29年度は総数120名(男性:102名
女性18名)で運営して行きます。

【運営委員会】

運営委員会は学習会の所でも述べましたが、学習会の運営が全てと言って良い程、学習会中心で回っています。学習会の前後での会員皆様との接点、講師の方との接点等、コミュニケーションの輪が広がります。運営委員会に参加される様、要望します。年度途中でも一向に構いませんので、是非皆様のご参加をお待ちしています。

【20周年記念事業】

今年度は設立19年目に当たり、来年平成30年が20周年です。20周年記念事業の最大のテーマとして「かねざわの歴史事典」3版の編集作業を進めています。編集委員会も26回開催し、いよいよ佳境に入ってきました。現行項目の改訂作業はほぼ終了し、新規(追加)項目の編集中です。隔月の編集委員会を毎月開催、加えて編集小委員会を適宜開催して、スピードアップし来年度総会で第3版の配布を目指します。新版は増刷りしましたが現在在庫ゼロです。事典以外につきましては、20周年記念事業実行委員会を3月24日に発足させました。この中でいろいろ検討して行きます。会員の皆様の結集が絶対です。全員参加で20周年記念事業をやり通し、次の30年、40年に繋げましょう。

【分科会】

7つ目の分科会を立ち上げたいと考えています。アイデアをお持ちの方は是非、運営委員に声を掛けて下さい。一緒に考え、具体化しましょう。



学習会

今年度の方針 「寺社を巡る会」

代表 吉田 寿紀

「寺社を巡る会」は“わ”の会最初の分科会として平成14年に発足しました。当初は金沢区を中心に金沢札所三十三か所霊場巡りに始まりましたが、翌年からは鎌倉・藤沢、三浦半島など探訪範囲が広がってゆきました。また東海道宿場巡り、横浜北部地区や東京の寺社巡りあるいは大山詣でなどにも行っています。

昨年からは会員の希望が多かった鎌倉地区を3年かけて訪れる予定です。

その1年目の昨年は北鎌倉、十二所、材木座、二階堂、藤沢方面の寺社や史跡を訪れ、個人的には行けない山門に上ったり、子院を訪れたりも出来ました。秋には恒例の特別バス探訪として「富士山一周富士浅間神社巡り」を行いました。当日は大雪後の快晴で、バスの車窓から真っ白に雪をかぶった富士山を眺めながら東口及び北口本宮浅間神社及び富士山本宮浅間神社を参拝することが出来ました。

8月は暑さを避けるために座学とし五木寛之の「百寺巡礼」のDVDを鑑賞しました。

昨年度は分科会発足15周年に当たり長年お世話になった鎌倉ガイド協会の千葉祐子氏にお願いして「寺社を巡る会と鎌倉ガイド協会をめぐるよもやま話」という題目で記念講演会を開催したことが大きな出来事でした。

今年度は鎌倉地区2年目として「鎌倉幕府滅亡の道」、「江の島巡り」、「義経と女性の物語」などのテーマを定め鎌倉中心部、北鎌倉、大船、江の島などをめぐります。

真夏の8月と真冬の2月は座学として五木寛之の「百寺巡礼」のDVD鑑賞を行う予定です。さらに11月には会員の皆様が楽しみにしているバス探訪として「多摩地区の寺社を巡る」（高幡不動、深大寺、大国魂神社、武蔵野御陵）を計画しています。

当会は“わ”をモットーに楽しみながら勉強する会です。歩くことにより体力の維持・向上を図るとともに、いつまでも若々しい頭脳を保つことを目標に活動をしています。

月一回の定例会の後は、希望者による「反省会」という名の懇親会を開催し、さらに絆を深めています。

現在会員は45名ですが、さらに多くの仲間と一緒に活動してゆきたいと思います。新入会員を募集しています。この季節替わりを機に当会に参加し皆と一緒に活動してみませんか。

今年度の方針 「ふれあいの道歩こう会」

代表 江口 正彦

お陰様で「ふれあいの道歩こう会」は創設14年度目(当会は年度の仕切りを1~12月としている)に入っております。今年度も創設時から標榜してきた安全・安心な山歩きを第一に、かつ、チームワークを大切にしながら分科会活動を継続して参ります。

「関東ふれあいの道」144 コース終了後は会員からのアンケートでコース案を募り関東周辺のハイキングコースや軽登山コースと「関東ふれあいの道」のアンコールコースを、花や紅葉などコースごとのベストシーズンを考慮したうえで立案、月例会を実施している。5年度目に入り47番コースまで進んでいる。

【今年度の月例会について】

今年度も8月の夏休みを除く11回の月例会が生まれ既に4回が実施された。

標高差や歩行距離、時間さらに登山道の状況などから、「1. やさしい」、「2. ふつう」「3. きつい」の3段階に分類、11コースのうち、「1. やさしい」が4回 「2. ふつう」が5回 「3. きつい」が2回となっている。

例年1泊例会を1回入れているが、今年は智恵子抄で有名な安達太良山の1泊山行を予定している。例年一泊山行は予備日を設けておりませんが、今年は是非実施したいとの思いで予備日を設けました。天候に恵まれ実施できることを期待している。

会員数は20名(男性14名、女性6名)、出席率は目安としている80%を超えている。

【山の日イベント】

昨年より、休日に指定された8月11日山の日に、何かボランティア的なことが実施できないかと模索中です。

【安全・安心への対応】

一昨年、日赤から派遣頂いた指導員のもと事故や怪我をした時の緊急手当てや対応について講習会を開いた。第2回目として昨年は5月2日に『すぐそこにある遭難事故』の著者 金 邦夫氏(元警視庁山岳救助隊副隊長)にお願いし、「中高年登山の落とし穴」と題して講演会を実施した。今後も安全な山歩きを第一として、会の運営を行っていく。

【役員の交代】

今年度は、役員4名が全員入れ代わりしました。全員「関東ふれあいの道」を経験していないメンバーで平均年齢が69.3歳と若返りました。

少人数とはいえ、新会員の加入は継続しておりその結果、63歳から83歳と年齢層は幅広い(平均年齢は凡そ73歳)。また、常時登録のビジターの方も6名となり賑やかな山行を楽しんでいます。

月例会は二人1組で順番に当番を決め、当番はコースの事前下見と計画書並びにマップ作成さらに、実施日は責任者としてリーダーを務める。創設当初から、計画書とアルバムは、“わ”の会のホームページに掲載され、4年前からは会報へも毎会、月例会実施概要を掲載している。また、昨年度より「ふれあい記録(実施記録)」も書き溜めてきた創設当時からものを含めホームページに掲載していただいている。標榜してきた安全・安心第一の山歩きも無事故で14年度目に入り、今後もよどみなく分科会活動が継続されて行くことを願っている。

29年度の鑑賞映画 「懐かしの映画を観る会」

代表 佐藤 晃

平成29年度の鑑賞映画は24本とし、外国映画16本、日本映画8本とした。昨年度までは再観賞映画4本を、24本に加え、28本鑑賞していたが、1日2本立ての日があり、鑑賞時間が長時間にわたるため、二本立てを取りやめ、24本としたのである。

当会では鑑賞映画の選択は、代表の提示する外国映画約150本、日本映画約100本のリストの中から会員の投票によって選定している。24本のうち半数は代表推薦とし、半数は会員の投票順位によって決めているが、代表推薦の映画と、会員の投票順位の上位の映画が重なる場合が多く、29年度は結果として、外国映画16本中、14本が会員の投票順、日本映画は8本中7本が会員の投票順になっている。

今年度の鑑賞映画の目玉は8月28日の『七人の侍』と5月22日の『天井桟敷の人々』である。共に3時間を超す長編映画であり、それぞれ10年以上前に鑑賞済みの映画であるが、かねてから再観賞の希望が多い映画である。おそらく会員の半数以上の方が、前回、ご覧になっていないのではないかと考えている。『七人の侍』（1954年）は黒澤明監督の名を世界に刻した名作で、その発想、緊迫感溢れる映画作りは世界の映画人に衝撃を与え、『荒野の七人』など多くの追隨作を生んでいる。3時間27分という長編のためこれまで、再観賞を見送っていた映画である。また、『天井桟敷の人々は』はフランスの名匠マルセル・カルネが1944年、ドイツの占領下でありながら、パリの歓楽街を舞台に恋と芝居に生きた人々の人間模様を描いた映画で、自由に生き、恋し、苦しむ人間精神の高貴さと自由の大切さを登場人物を通して声高く謳って

いる。上映時間3時間5分という長さだが、両映画ともこの機会を逃がさずに観ていただきたいと思っている。

今回、会員の投票によって初めて鑑賞する映画の中で、是非ご覧いただきたい映画のいくつかを紹介しよう。

4月10日の『グラディエーター』は会員投票で外国映画第1位となった映画である。ローマ帝国時代の歴史劇で、実在したコモドゥス帝の時代を虚実さまざまな仕掛けでエンターテインメント映画とした。コンピューター・グラフィックを用いて古代ローマ時代を再現し、キレのよいアクションと監督リドリー・スコットの独自の映像の世界により、大スペクタクル映画となった。アカデミー作品、主演男優賞（ラッセル・クロウ）受賞作である。

6月12日の『喝采』はグレース・ケリーがアカデミー主演女優賞を得た唯一の作品である。かつては、名エンターテイナーとして名を馳せたが、今はアル中の夫を支えながら、夫を救ってくれた演出家との三角関係に揺れる女心をグレース・ケリーが好演している。

10月23日の『邪魔者は殺せ』はキャロル・リード監督の名を世界的に知らしめた秀作。アイルランド独立運動の闘士が、政治資金を強奪中に重傷を負う。警察に追われる闘士を何とか救いだそうとする同志たち。『第三の男』同様、夜の街を光と影とを巧みに写しだすカメラワークは抜群である。巧妙なテクニックを用いて最高のサスペンスドラマを作った。

12月8日の『ゴッドファーザーⅢ』は大河ドラマ「ゴッドファーザー」シリーズを締めくくる作品である。コルレオーネ家の財産

と権力を受け継いだマイケルはファミリーの将来のため合法的なビジネスに移行させるべく努力するが、内部抗争が起き……。見所はオペラ劇場を舞台にしてのゴッドファーザーの襲撃シーン。2時間42分の大作をお楽しみに。

1月8日の『初恋のきた道』は、中国を代表するチャン・イーモウ監督作品。山間の村に住む18歳の少女チャンユーが新任の小学校の教師に恋をした。現在の日本映画ではめったに観られない純愛映画でラストは涙なしにはみられない感動作である。ベルリン映画祭銀熊賞受賞作。映画初登場のチャン・ツイイーな可憐な姿が忘れられない。

1月22日『恋に落ちて』はロバート・デ・ニーロとメリル・ストリープのコンビでのアメリカのラブ・ストーリーである。マンハッタンを舞台に、ふとした偶然から知り合った男女が、家庭を持つ身ながら、次第に恋に落ちていく。不純の恋ながら、演技派俳優二人の共演で、しっかりと描く。

日本映画では、まず4月24日『蝉しぐれ』がある。会員投票で日本映画第1位の映画である。原作に惚れこんだ監督黒土三男が、映画化を志してから15年がかりで、映画化を果たした執念の映画である。東北の小藩「海坂藩」の青年武士牧文四郎の苦難に耐えてまっすぐに生き抜く姿を描く。朋友との厚い友情、隣家の娘との淡い恋などを通じての生き方は優れた青春の映画となった。

6月26日の『天平の躰』は日本仏教界の確立のため、唐の高僧鑑真に来日を要請する使命を帯びて遣唐船に乗った4人の青年僧の波乱に富んだ人生を、中国ロケを主体に描いた熊井啓監督の秀作。

8月7日の『男はつらいよ』は山田洋次監督の寅さんシリーズの第1作である。寅さんシリーズの原点がすべて詰まっている。渥美清が68歳で亡くなったのは1996年8月4日、今年が22回忌にあたる。

9月25日の『海街diary』は是枝裕和監督が海街＝鎌倉を舞台として、四人の姉妹の物語が日記のように淡々と綴られる。鎌倉の四季のうつろいが彼女たちの生活を彩っている。綾瀬はるか、長澤まさみ、夏帆、広瀬すず 旬の女優たちが生き生きとしている。

3月12日の『駅 STATION』はもう一度見たいという声が多くて再登場した。人と人とのめぐり合いを、駅に停車する列車にたとえ、高倉健扮する刑事と、三人の女との出会いと別れを描いた。脚本倉本聡、監督降旗康男、撮影木村大作の名コンビの作品である。

以上13本の映画の紹介をしたが、29年度のリストのほとんどが、会員の希望によるものである。29年度も会員が一堂に会して喜びや哀しみを共有しながら、懐かしい映画を楽しみたいと思っている。



今年度の方針

「浮雲俳句会」

代表 北野 清市

「浮雲俳句会」の本年度の活動方針は、“船舶俳句”へのトライとした。

大型船舶は、航空母艦をはじめ豪華客船・浚渫船など海洋の安全と運送それに工事に就業している。他方、普通の船舶は、釣船や帆掛舟が数多く漁業に携わっている。また遊覧船・ヨット・クルーザーなどは海の観光の側面を担っている。

この点、ご当地の観点から見てみても、横須賀では空母レーガンが配備され防衛の大任を果たしている。また東京湾では小魚を狙った釣船がひしめき、隅田川や湾岸観光に遊覧船が大活躍している。

小鳥来る往来はげし遊覧船

クルーザー黒潮にのり旗魚追ふ

このようななか浮雲俳句会としては、空母（7月）・釣船（8月）・遊覧船（9月）・クルーザー（11月）・豪華客船（12月）・浚渫船（1月）・イージス艦（2月）・タンカー（3月）・帆掛舟（4月）それにヨット（5月）と、俳句でこれらの活動を記録しておきたい。

タンカーの運んできたる朧月 一清



今年度の方針

「パソコンを使いこなす会」

代表 林 洋

「パソコンを使いこなす会」ではパソコン操作でお困りの会員、パソコンをもっと上手に使いたい会員のためにノートパソコンを持ち寄ってみんなで問題点を解決することを目的として活動を進めています。

毎月第2第3火曜日に金沢地区センターや晴嵐かなざわに集まって次のようなことを勉強しています。

- 1) 基礎講座：自作テキストを使用した年賀状・地図・ピラ等の作成
- 2) 実用講座：インターネット情報や雑誌記事を参考にパソコン操作・検索技術の習得
- 3) 復習講座：市販の教材を使用したWORD・EXCEL 操作の復習

平成 28 年度は Windows 10 の操作習熟、PICASA3 と Google フォト、画像ファイルの縮小、名刺の作成、インターネットでの情報収集、日本語入力、Facebook 等具体的なパソコン操作技術を勉強しました。さらに、カレンダー作成、年賀状作成、音楽 CD 作成、差し込み印刷等のパソコンを使った資料作成技術も習得しました。

今年度は、分科会設立から 10 年目に入ります。今まで累計 44 名の方が在籍し、現在の会員は 25 名です。その内 10 名の方が当初から参加しています。

平成 29 年度の実施計画を立てるに当たって、分科会開始以来 9 年間で学んだテーマ 137 項目を整理して、今後学習したい項目を調査しました。パソコンのトラブル対策、困った時の対策、Windows が正しく起動しな

いときの対処法、バックアップとデータの引越、メンテナンス、Windows の使いこなし、One Drive 等の具体的な希望が寄せられました。一方「年賀状」の作成、転居はがき等、WORD での資料作成の演習は必要ないという意見もありました。そこで、平成 29 年度は普段あまり使わない Excel 関係テーマ 7 件、Internet 関係 6 件、Windows 操作関係 6 件を重点項目とし、上記希望テーマの他に LINE、YouTube 音楽ダウンロード、デジカメ画像の取り込み、Google Map、オンラインストレージサービス、日本語入力の常識等を勉強する予定です。

パソコンやインターネットは現代生活の必須インフラです。私は金沢区内のコミュニティハウスや地区センターでの「パソコン相談室」や「街の先生」の活動で、パソコンに関するさまざまなトラブルの解決に協力してきました。平成 28 年 11 月に柳町コミュニティハウスでの「パソコンで年賀状作成！」に分科会メンバーが、講師＋サポーター 4 名で参加しました。少人数の講座で丁寧に教えるのは教える側でも貴重な経験でした。

また“わ”の会の学習会、ふれあいの道歩こう会、寺社を巡る会、懐かしの映画を見る会でお目にかかった会員の方々から具体的な質問があり、お答えすることも何度かありました。今後もこのような個別相談に分科会として取り組んで問題を解決する能力を高め、会員間でも情報共有して活動範囲を広げたいと思います。

運営委員 新任挨拶

鶴岡 重典

“わ”の会には一昨年に加わらせていただきましたが、昨年3月まで仕事をしていました。関係で、実質的な活動は昨年4月以降です。その後、運営委員の皆様から熱心なお誘いをいただき、多少とも諸先輩のお役にたてればという思いでお引き受けすることにいたしました。生来の不器用者で、どれだけお役にたてるか不安ですが、精一杯頑張りますので、ご指導の程、よろしくお願いします。

なお、分科会には現在、「懐かしの映画を観

る会」と「寺社を巡る会」に加入しています。

最後に、簡単に自己紹介をさせていただきますと、昭和27年1月中区本牧生まれの65歳。仕事の関係で5年程九州博多で過ごしましたが、それ以外の60年はすべて横浜市内に在住。港北区大倉山、金沢区並木と移り住み、現在は東朝比奈に住んでいます。残念ながら、その割には地元についてわかっていないので今後勉強していきたいと思っています。よろしくお願いします。

運営委員 退任挨拶

瀬川 健次

2017年度末をもちまして私、瀬川健次は“わ”の会運営委員を退任させていただきます。前代表今井様より推薦頂きましてお引き受けいたしました。短い期間でございましたが会員の皆様、運営委員の方々、のご指導、ご支援によりまして今日まで担当させて頂きまし

た。退職後初めての地域での活動、今までと異なった大きな体験を得ることが出来ましたこと感謝いたしております。

今後は“わ”の会の一員として参画させて頂ければ幸いです。今後共宜しく願い申し上げます。

運営委員 退任挨拶

柴土 一廣

この2年間を総務次いで会計担当の委員として、お役目を楽しく務めさせていただきました。その間、諸先輩には何かと不慣れな自分を支えていただき感謝しております。

誠に勝手ながら私事都合に加えて親の介護

で時間がさらに必要となったことから、今期末をもって退任させていただく次第です。

お世話になりました皆様にはこの紙面をお借りして厚くお礼申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。

第12回 公開歴史講座 「能と金沢」

開催日：平成29年2月11日（土）

9：30～12：00

会場：能見台地区センター多目的室

講師：慶應義塾大学附属研究所斯道文庫

准教授 高橋 悠介 氏



高橋 悠介 氏

【概要】

称名寺の薪能を見たことのある会員も多いようだが、殆ど知識のない私にとっては腰の引ける講座であった。しかし高橋氏の分かりやすい説明で、猿楽（散楽とも書く）から能楽への流れが理解できたのが有難かった。

能は平安時代に成立した猿楽に源を発し、室町時代に三代将軍足利義満の庇護を受けて、観阿弥とその子である世阿弥が完成させたと言われる。

大和猿楽の流れを汲む観世、宝生、金春、金剛と金剛から派生した喜多の5つの家がその芸を伝承している。現在演じられる演目は約200と言われるが、その中から金沢に関係のある曲について、原文の読み下し文付きで解説された。

『六浦』（むつら）

作者は佐阿弥と金春禅竹の二説あるが、いずれにしても金春系の曲である。

室町時代の紀行文にも見える称名寺の“青葉楓”の伝承がテーマである。

旅の僧が相模の国六浦の称名寺を訪れると境内に紅葉の季節なのに一葉も色づいていない楓があるのに気付いた。里の女に聞くと中納言為相が東下りの時に立ち寄りこの木を見て「いかにして此の一本にしぐれけん山にさきだつ庭のもみじ葉」と詠んだからだという。僧は不思議なことだと思い身許を問うと「今は何をか包むべき 我は此木の精なるが、」と正体を明かす。

後半は僧に草木物といわれる曲に出てくる

「草木国土悉皆成佛」の妙文を疑わないで昔を語りたまえと言われた楓の精がこれに応え四季の情景を詠い山に帰っていく。

能では知名度の高い『六浦』だが、今も金堂前の池のほとりに「青葉楓」が植えられているのは御存じの通りである。

2017年5月3日の「称名寺薪能」に上演されるので、実にタイミングのよい講演になったといえる。

『放下僧』: 普通はほうかと読むが、テキストは(ほおかぞお)である。

作者は不明だが、瀬戸神社を舞台にした仇討ちの物語である。

シテは下野の国の住人牧野小二郎と兄、放下僧に身をやつして父の敵である利根の信俊と瀬戸神社(原文は「瀬戸の三島」)で対面する。放下は手品や曲芸をする者で僧形が多かったという。兄弟は信俊と問答の形をとりながら芸を見せて正体を暴こうとする。最後は

目出度く望みを叶えるが、その場面は舞台にシテが残した笠に飛びかかって敵討ちの様子を見せるだけという演出だという。「かくて兄弟念力の、その期のありて忍ちに、親の敵を討つことも、孝行深きゆえにより、名を末代に留めけり」で終るように、この作品は三島明神の靈験を強調している。先日、瀬戸神社を訪れたら社殿前の手洗いの脇に『放下僧』を説明した標示板が立っているのを見つけた。

このほか、作者不明だが近世に作られ第5回の称名寺薪能で復曲された海中に住む酒好きの狸々(しょうじょう)が主人公の『金沢狸々』についても解説があった。能は最も完成した演劇とも言われるが、その中に金沢を舞台にした曲があるというのは歴史好きにとっては自慢したい話である。

(伊達一雄 記)

2016年度第12回公開歴史講座アンケート集計

1. アンケート集計 (※印はビジターの人数)

出席者		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	計	アンケート(提出率%)
	男	43	9	52(51.0)	3	55	
	女	8	2	10(58.8)	0	10	
計		51	11	62(52.1)	3	65	34※2(63.0)

2. 講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった
17名(※1名)	14名(※1名)	2名	1名

・能についてはまったくの初心者ですが面白く拝聴しました

- こういうお話はなかなか聞けませんので、良かったです。
- 能について全く造詣がなかったので大変面白く伺うことが出来た、少し時間不足だったが前半の部分の能についての概説が参考になった。以前一度加賀宝生流の能をみたことがあるが、今回の講演でおぼろげながら全体像が理解できた気がする
- 最初の解説で全体がわかった
- 能とは難しいと思っていたが、今日の講義で金沢の歴史との関連のお話で興味を引かれる様になった
- 金沢に関する3つの能について興味深いお話が聴けた
- 称名寺と薪能との由来がよく判りました
- 説明が分りやすく、スライドの使い方が上手である、前半の能の解説と後半の能の詞章等の解説もバランスが良い
- 入りにくい能の世界がスライドでわかり易く解説、狂言とのつながりがよくわかった
- 講師の説明がわかりやすく話し方も上手、能の理解が深まった
- 能について大分分かった、興味深く話がきけた
- 金沢と能との関係がよく分った
- 能は距離感があり、理解不足であったが、少しは理解が出来たかも
- 能の基本及び3つの曲の金沢との関係が明確に理解出来た
- 能の基礎知識が学べたこと
能と狂言の連携
能と金沢の縁
- 六浦、放下僧、金沢狸々と以前から気になっていた能のテーマですがわかりやすい解説をいただき大変良かったと思います
- 昨年始めて称名寺薪能をみたが、さっぱり聞き取れず、閉口した記憶がある。このようなガイドがあればと思う。次の機会には予習してから観劇しよう
- 能についてわかり易かった。興味を引いた
- 興味はあったが、入れなかったので能の世界を知ることが出来た、講師が素晴らしかった
- 能の基本的(基礎的)な解説が簡明であった、今後の鑑賞に参考になった、象徴的な型の説明は有難かった
- 能の関心が有り、とても興味深く講演を拝聴出来ました。又「能と金沢」を取り上げていただき、より身近な関心を深めることが出来ました
- 以前より「六浦」「放下僧」が当地金沢に係る能と聞いていたが、今回の講演でそのいわれが納得した
「能」の概要の説明は入門講座として理解出来た
- 前半に能の説明がありましたが、資料をつけてくれると良かった(能について無知識)
- 講話の進展が少し早過ぎ、リズムを追うスピードが合わなかった、内容は良かった、興味をもてそう
- 従来と違った角度から金沢を見る企画が良かった
- 能研究の若手として詳しい内容になっていて参考になった。但し内容が盛り沢山のため一般の方が

らすると内容が理解出来たのかどうかと思いつつ聞きました

- シャッター音やフラッシュの光で全く集中できなかった

3. 高橋 悠介講師に講演希望のテーマ

- 狂言について聴講したいと思います
- 能の歴史と源氏との関係を取り上げ、創生期と豊臣秀吉、徳川時代と明治維新、そして戦後の時代の節目における能の歴史を掘り下げて話して欲しい
- 能と武家、宗教とのかかわりについて
能の上演される演目など、どのようにして能役者、狂言師など選ばれているのか。
時節、行事など関係しているのでしょうか
- 中世絵画
- 金沢に関係ある、放下僧、六浦、金沢狸 のいずれかを搾り込みでお願いしたい
- 中世の金沢、今後共時々お願いしたらどうだろうか、特に金沢文庫に7年在籍との事も有り
- 能の基本についてより詳細に話して欲しい(歴史、演技、舞台)～金沢に関係なくてもいい
- 能楽の歴史について発生時代(平安・鎌倉)から話していただきたい

4. 学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	チェックなし
11名	15名	2名	6名(※2名)

- 能の基本と金沢と能の関係バランス良いテーマであった
- 参加者が比較的少なく残念だった、休日なのか、テーマなのか、テーマの伝え方なのか、分からないが、…
- 講師の選定に苦慮していることが分る
- 講座の内容が充実していてありがたい
- 先生は能について知っているのですが先生のテーマと内容はある程度理解出来たが一般の方は内容が盛り沢山で理解出来なかったのではないかと。話した内容はコンパクトに上手く説明されていて良いと思いますが、一般の方の理解は如何ですか。
- チームワーク良い、ご苦労様です
- 山腰氏の司会がよかった

5. “わ”の会について

- 初めて参加しました
- 小栗上野介に関係する講座を希望します
- 今期ご苦労様でした。来期も期待しています
- 公開講座は毎回テーマ設定が優れていると思います
- 会員数が減少気味のようなので？あらゆる機会を捉えて“宣伝”を！
- 講座の内容が充実していてありがたい、いつもよい企画ご苦労さま

6. 質問 (2件)

- ・世阿弥佐渡に流されたが、原因は、その後は
⇒原因は不明、勢力争いの余波か？佐渡で「金島書」を著す、後に帰洛したと伝えられるが詳しい事は不明
- ・放下僧の中での仇討のしぐさについて
⇒能はリアルな表現を避ける。扇を刀に構え、傘に飛びかかって仇討ちのさまを見せる。

『参考：講義前半のメモ』

1. 能を考えるキーワード

- ・世阿弥 室町時代足利将軍(足利義満、義持)に愛された大和猿楽の観阿弥、世阿弥父子が大成。婆沙羅大名として知られる佐々木道誉も庇護。
- ・座 現代は5流、観世流、宝生流、金剛流、金春流、喜多流 もともとは「座」
※梅若流 1921年(大正10年)創立、1954年(昭和29年)観世流に復帰
- ・祭礼 春日若宮御祭 祇園祭の鉾
- ・翁 能にして能にあらず 呪術的芸能
- ・祝言 結婚式で謡(高砂)をうたう風習
- ・式楽 武士の世界の儀礼演劇

【作品】

- 観阿弥 自然居士、小町(卒都婆小町)、四位少将(通小町)
- 世阿弥 高砂、敦盛
- 観世元雅 弱法師

2. 能の諸要素

- ・発声 謡(うたい)
- ・台本 謡(うたいぼん)
- ・演技 所作や舞⇒型(かた)の組み合わせ「型付」
- ・音楽 お囃子(太鼓・小鼓・笛・大太鼓)
- ・服飾 能面、能装束
- ・舞台装置 能舞台、作り物、能舞台の下にカメを埋めている(音響効果の為)
- ・面 翁面、狩衣

フォーラム KANAZAWA 2017に参加

今年のフォーラムは3月18日(土)10:00～15:30 金沢区生涯学習交流会実行委員会主催、金沢区役所共催による「フォーラムKANAZAWA 2017」が金沢区役所で開催されました。

「街の先生」「登録団体」合計31団体が参加され、私達、金沢区生涯学習“わ”の会も昨年に続き参加をいたしました。

今年度会場は従来の能見台地区センターから金沢区役所に変更され、新しい会場となり大いに期待しましたが、宣伝不足か、アクセスの問題か、要因は定かではありませんが来場が大変少なく特に子供の来場がほとんど見かけられませんでした。

アンケート結果内容

- ・ 出店者に出された「会場設営・配置」について、良好の回答が多数。
- ・ 2階廊下・リハーサル室・会議室ABについては改善の余地ありがやや目立つ。
- ・ 「企画・内容」について、良好・普通が相半ばで多数。
- ・ 1階ロビー・会議室ABについては改善の余地ありがやや目立つ、アンケート感想・会議内容について、運営委員会で出された意見が大部分、ただし、区役所開催が支持され、能見台希望はなかった。
- ・ 他の意見として開催日が悪い(3連休であった・卒業式など学校関連の行事と重なった等)
- ・ 入口に表示がなく中で何をやっているかわからない、人出が少ないのは宣伝不足ではないのか。
- ・ 「体験型」ブース「演技・演奏」は概ね好評であったが何の集まりだか分かりにくい。
- ・ 飲食は人集めに効果があり、工夫して実現できるよう考えたらいいのではないのか。

(事務局の報告では200人の来場者)。

展示パネルは“わ”の会、メイン行事の「学習会の紹介」、「6分科会活動説明文」、「活動写真」を記載し運営委員が説明を行ないました。

こんな歴史のサークルがあったのかと興味を持って説明を聞いて頂きました。脈のありそうな人には会員募集ちらしで“わ”の会への勧誘を行った所、新しく4名の方が“わ”の会に入会され、大きな成果を上げることが出来ました。

会員皆様のご来場、運営委員の皆様の協力、御支援によりまして無事終了することが出来ました。



『寺社を巡る会』活動記録 平成28年度9回～11回

第9回「寺社を巡る会」15周年記念講演会

《寺社を巡る会と鎌倉ガイド協会をめぐるよもやま話》

講師：千葉 祐子 氏（鎌倉ガイド協会）

開催日：平成29年2月10日（金）

場所：横浜市立大学YCUスクエア Y203教室

参加人数：男性30名（内ビジター1名） 女性9名（内ビジター1人） 合計39名

「寺社を巡る会」は平成14年5月に15名の会員で発足しました。会発足15周年記念行事として千葉祐子（鎌倉ガイド協会）講師をお招きして講演会を開催した。吉田寿紀代表より、千葉さんには大変長い間お世話になりました。鎌倉ガイド協会に入られて15年を迎えられる。寺社を巡る会の15周年と奇しくも一致しまして良い思い出に残るような講演会になると思います。とのご挨拶があった。

懐かしい場面が出てきたらあの時こうだったと思い出して下さい、それが楽しい講演会になる秘訣ですと講演会が始まった。「寺社を巡る会」と「鎌倉ガイド協会」との出会いが平成14年に初代代表の関祥さんのガイド依頼が馴れ初めである。平成15年からは一緒に活動が始まった。平成17・18年、この頃になるとメンバーが増えている。段葛の元気な桜が咲き誇った桜吹雪の下の勢揃いに「若かったなあ～」とを感じるシーンである。

平成16年晴れて研修を終え鎌倉ガイド協会に入会してまもない頃、ある先輩が寺社を巡る会という素晴らしい会を我々がガイドする事になった、それぞれ頑張りましょうと話される。「私にもお手伝いさせて下さい」と申し込みをした。「貴方何考

えているのよ10年早い」と言われがっかりした。いつの日か寺社を巡る会の方達と一緒に歩けるような立派なガイドになろうとその時決心しましたと千葉講師自身の思い出も語られた。平成23・24年寺社を巡る会と鎌倉ガイド協会が連係プレーをして、東海道宿場巡りを目出度く行う。お互いに一緒に活動した時期で知らない所に行ったり、知らない事を勉強したり蜜月の思い出多い探訪が沢山出来た時期であった。

あの方、この方のずっと一緒だった金澤ガイド、柏木ガイドの「思い出をたどれば」が朗読される。金澤ガイドからは特に思い出深いのは東海道宿場巡りのコースです。準備に苦勞しましたがガイド出来た事です。ガイドの後の反省会も楽しかったです。有意義な意見を多々頂き参考になりました。柏木ガイドからは歴史探訪をする時は次の様な事を生かして組むと良いと思う。①街とか地域の成り立ちまず全体像を掴む事②どんな人物がそこに居たか考察する事③そこにはどんな産業があってどんな街だったかを見極める事④文化の特色、環境、治安色々な面からその土地の事。

（金久保常二 記）



15周年記念講演



懇親会

第10回 梅を訪ねて、江の島道を歩く

開催日：平成29年3月2日(木)

参加人数：男性26名 女性5名 合計31名

コース：江ノ電江ノ島駅～龍口寺～常立寺～一遍上人地蔵堂跡～本蓮寺～密蔵寺～馬喰橋
～新林公園(解散)

江戸時代、庶民の間では弁財天信仰が盛んになり、江戸から3～4泊の手ごろな距離の江の島は、大変賑わった。江の島道は藤沢宿から江の島に至る、大山詣での帰りに江の島弁財天に参詣する道でもあった。本日は江の島から藤沢へ北に向かい、周辺の古刹を訪ねた。

前日の雨の予報も朝にはあがっており江の島駅を平常通りスタート。

最初に訪れたのは「龍口寺」本尊日蓮聖人、開山日法上人、日蓮入滅ののち、直弟子日法が一堂を建立したのが始まりとされている。総門の左側に「刑場跡」とあり、鎌倉幕府の刑場があった処、義経の首実検が行われた処でもある。立正安国論を著し幕府に捕らえられた日蓮が、斬首の寸前、稲妻の光で免れたという「龍の口法難」が知られている。その折、座らせられた「敷皮石」は本堂に「おたから」として残っている。境内山の上に、県内では唯一の木造五重塔がある。「地、水、火、風、空」を表している。江戸時代に彫られたという山門の彫刻が素晴らしい。数多くの見所がいっぱいある。

江の島道に出て、江の島弁財天道標を見る。管絃術考案者で弁財天信奉者の杉山検校が、参詣する人々が迷わぬようにと、寄進したもので重文として街道に今も11基が残っているという。

続いて「常立寺」を参詣。上述の龍口寺が550年間住職を置かなかつた時代、周辺の8つの寺が輪番で守護して来た。その1つが常立寺、元々、処刑された死者を弔うため出来た寺で、1275年蒙古の国使5人が来日、北条時宗の命で斬首されたがこれを弔う「元使塚」が造られ、のちに五輪塔も建設、今もモンゴル出身の大相撲力士たちが参拝に訪れている。しだれ梅が立派に咲いている。

次に、一遍上人地蔵堂跡を訪れる。一遍の遊行で一番長く滞在した処で、4か月半に及んだという。

続いて、本蓮寺、上述8輪寺の一つ。推古3年に開かれた片瀬地区最古の寺院、徳川家康が江の島から江戸に帰る折使用したなど縁があり、御朱印寺と称された。参道には「頼朝駒繫ぎの松」がある。最後の寺は、真言宗蜜蔵寺。かつて、境内に新四国八十八か所霊場を作ろうと発願したが関東大震災の影響もあって成就せず、現在26体の修行大師石像に留まっている。本尊「愛染明王」で境内には木暮実千代の植樹した「愛染かつら」の樹がある。

昼過ぎから、やや強い雨模様となり、足早に帰路に就く。途中、昼食予定の「新林公園」の古民家、軒下で小休止、解散式をして、昼食抜きで藤沢駅に急ぐ。(寺田英男 記)



龍口寺本堂と五重塔



密蔵寺26体の修行大師石像

第11回 桜の名所「大庭城址」を訪ねる

開催日：平成29年4月6日(木)

参加人数：男性25名 女性8名 合計33名

コース：辻堂駅北口～(バス)～(大庭小学校前)～小糸神明社～大庭城址資料館～大庭城址公園～舟地藏
～引地川親水公園(昼食)～成就院～熊野神社(旧大庭神社跡)～臺谷戸稻荷～宗賢院～
大六天バス停～(バス)～藤沢駅北口(解散)

鎌倉の歴史に馴染み深い大庭氏ゆかりの史跡探訪の端緒は、小糸神明社の参詣から始まった。この神明社は古くは「大庭郷」ゆかりの地である大庭御厨内に伊勢神宮の末社を勧請したものであるが、宅地開発の影響で現在地に遷座された。大庭御厨は鎌倉権五郎景政が永久4年(1116年)に新田開発、立荘したのが始まりであるが、源義朝軍勢の度々の狼藉、略奪行為から御厨を守るため伊勢神宮に寄進し、その後一族が御厨を継承、大庭氏を名乗ったものである。

次に訪れた大庭城址公園は、平安時代から戦国時代まで存在した大庭城跡を利用して造られた総合公園である。大庭城は室町時代中頃に本格的な築城がなされ、北条早雲によって攻略された後、豊臣秀吉の小田原攻めで開城となり、元和元年(1615)の一国一城令で廃城となった。現在も残る遺構及び周辺の駒寄・裏門・二番構などの地名から大庭城が大きな規模を持った城であったことが分かる。今回探訪の目玉である城址公園の桜は、ガイド協会の推奨通り、芝生広場の大樹が見事な花盛りで、皆の目と心を楽しませてくれた。

舟地藏は、北条早雲の大庭城攻略の際、引地川の堰を切ることを進言して秘密保持の為に殺された老婆を悼み祀られたという謂れを持つ舟型台座の地藏である。像と台座の時代が異なるが、心に留めおきたい地元に伝わる哀話であった。



大庭城址公園の桜

次に訪れた成就院は本尊が珍しくも愛染明王である。お寺の好意で本堂の外からであったが愛染明王を拝観することが出来た。成就院は江戸時代には大庭神社の別当を務めたと謂われ、神仏習合のこの関係が現在も生きており、成就院の住職が大庭神社の鐘を毎日撞いているということである。大庭神社は菅原道真を合祀したので天神社とも呼ばれるが、大庭の総鎮守である。安永6年(1777)には大庭景親を合祀している。相模国13座に名を連ねる延喜式内社の一つである。

熊野神社は大庭神社の旧跡と伝えられ、高い石段の上に建てられており、足に自信のない大半の会員は下から拝観させて頂いた。

引地川の平野を越えた台地上を臺(ダイ)、北側の谷は谷戸(ヤト)と呼称するが、相模野の自然が残る森に「かながわの名木100選」に指定されている樹齢約300年、幹回り6mのタブの巨木を観ることが出来た。大庭台の開発が進んでいるとはいえ、まだ自然の多い相模野である。

最後に訪れた宗賢院は、龍骨堂に祀られている龍骨が周辺の村が旱魃になった時、雨乞いの儀式で祀ると霊験があり、必ず雨が降ったという言い伝えが印象に残った寺であった。

強風に追われるように歩く時もあったが、遠望の利く台地上を歩く心地良さを楽しめる探訪でもあった。(飯富禧子 記)



成就院

「懐かしの映画を観る会」 鑑賞録 NO.22

代表 佐藤 晃

平成28年度 第21回 鑑賞会

<鑑賞日：2017・2・13>

アナと雪の女王 Frozen

製作：2013年 米国 上映時間 102分
監督：クリス・バック、ジェニファー・リー
脚本：ジェニファー・リー
原作：ハンス・クリスチャン・アンデルセン『雪の女王』
受賞：第86回アカデミー賞 長編アニメ映画賞、歌曲賞（レット・イット・ゴー）

（あらすじ）

アレンデル王国の王女・エルサは生まれた時から、触れたものを凍らせたり、雪や氷を作る魔法の力を持っていた。妹のアナと遊んでいる時、はしゃぎすぎたアナを助けようとして自分の魔法でアナは意識不明になってしまう。二人の両親の王と妃がトロールたちに救いを乞い、アナは回復するが、エルサは日増しに魔法の力が強くなるので、世に知られぬように城中の窓や門を閉めて部屋に閉じこもり、誰とも会わず、自分を抑えて生きることを強いられる。一方、アナはエルサが何故自分を避けようとなったかが分からない。その10年後、王と妃は海難事故で亡くなり、エルサとアナの二人だけになってしまう。さらに3年後、成人したエルサは女王として即位することになり、閉ざされた門を開いて戴冠式が行われる。エルサは自分の魔法が一層強くなっているのを自覚しているだけに、な

んとか式典を乗り切ろうとする。一方、アナは13年ぶりに外界と折衝できたため、新しい出会いを楽しみにしていた。戴冠式直前に大勢の来賓客の一人である、隣国の王子ハンスと出会って恋におち、その日のうちに結婚の約束までしてしまう。戴冠式のパーティーで婚約を告げられたエルサはあまりにも早すぎる婚約に反対し、アナを説得するが、閉鎖的な13年間の生活に嫌気がさしていたアナは納得しない。姉妹は口論になり、思わずエルサは人々の前で、魔法を暴発させてしまう。自分の力を知られ、怪物よばわりされたエルサは王国から逃げ出すが、夏の王国はエルサの魔法により、永遠の冬に閉ざされる。エルサはノースマウンテンに魔法で氷の城を建て、一人で生きていくことを決意する。この騒ぎは、自分に責任があるとアナは国政をハンスに任せ、エルサを探す旅に出る……

（解説）

第86回アカデミー長編アニメ映画賞を授賞し、主題歌「レット・イット・ゴー」で歌曲賞をも受賞した映画で、興業的にも大ヒットし、歴代2位を記録した。（第1位はタイタニック）。アンデルセンの「雪の女王」にインスピレーションを得て、運命に引き裂かれ

た王家の姉妹が凍てついた世界を救うため冒険を繰り広げるファンタジーアニメーションである。さすが老舗ディズニーアニメーションだけあって、人間の血の通ったアニメーションになった。

平成28年度 第21回 鑑賞会

〈鑑賞日：2017・2・13〉

アパートの鍵貸します The Apartment

製作：1960年 米国 モノクロ 上映時間 121分
監督：ビリー・ワイルダー
出演：ジャック・レモン、シャーリー・マクレーン
受賞：第33回アカデミー作品、監督、脚本、美術、編集賞受賞

(あらすじ)

ニューヨークにそびえたつ摩天楼の中にある大保険会社に勤務する平社員のパクスター（ジャック・レモン）は上司たちの浮気用に自分のアパートを提供して出世を狙っている。ある日、このアパート貸しの件が人事部長に知られて呼び出されたが、人事部長から自分も仲間に入れろと言われ、部屋を貸すと、直ちに昇進したうえ、個室まで与えられた。パクスターはエレベーター・ガールのフラン(シ

ャーリー・マクレーン)に惚れているが、彼女は人事部長に首つたけで、パクスターの部屋で密会を重ねているこのことを知ったパクスターはクリスマスの夜、酒場で酔っぱらい、酒場で知り合った年増の金髪女と意気投合して自分のアパートに連れ帰ると、そこには、離婚する気のない部長に失望して、睡眠薬自殺を図ったフランが倒れていた……

(解説)

主人公のパクスターは入社3年目の平社員で、コネも才能もない。会社で出世するにはこれしかないとはばかりに、上役にアパートの自分の部屋をホテル代わりに提供して、念願の昇進と個室を手にする。しかし、恋した女が上役の相手と知れば落ち着かない。大都会に暮らす健気な男女を主人公にしたこの物語は、風刺の効いた洒落た喜劇としてアカデミー作品、監督、脚本賞他に輝いた。

都会派監督として評価の高いビリー・ワイルダーの微密な演出は、小道具を伏線として巧みに使い、劇に緊張感をもたらす。フランの割れたコンパクトミラーで顔を映したパクスターは瞬時に人事部長とフランの関係を知ることになる。失意のパクスターはその夜、酒場でひとりマティーニを飲み、横に飲んだグラスの数のオリーブの刺さった6本の妻楊枝が置かれている。失意の時間の長さがか

る。ラストシーン近く、フランがパクスターの部屋の前に立つと、中から銃声一発。自殺かと思いきや、自分の門出を一人で祝福したパクスターがシャンパンを開けた音だったなど数多くの仕掛けが面白い。

ジャック・レモン(1925~2001)の緩急自在な演技は素晴らしい。この映画でアカデミー賞主演男優賞にノミネートされたが、惜しくも賞を逸した。しかし、評価は高まり、この映画でスターの地位を確立した。その後、1974年『セイヴ・ザ・タイガー』で主演男優賞を得ている。シャーリー・マクレーン(1934~)は、男にだまされるお人よしの娘を好演した。レモンと同じくこの映画で主演女優賞にノミネートされたが、賞を逃した。しかし、1984年『愛と追憶の日々』で主演女優賞を獲得した。

平成 28 年度第 22 回 鑑賞

〈鑑賞日：2017・2・27〉

真空地帯

製作：1952 年 新星映画社

上映時間 129 分

監督：山本薩夫

原作：野間 宏

出演：木村 功、神田隆、三島雅夫、下元勉、加藤嘉、西村晃、岡田英次
花沢徳衛、佐野浅夫、沼崎勲、高原駿雄、金子信雄、利根はる恵

(あらすじ)

陸軍刑務所での服役を終えて仮釈放となった木谷一等兵(上等兵から降等)(木村功)は、敗色濃厚となりつつあった 1944 年の冬に、古巣の大阪歩兵聯隊歩兵砲中隊に復職する。木谷は聯隊經理室勤務の事務要員であったが、經理委員間の主導権争いに巻き込まれ、上官の財布を窃盗した疑いで軍法会議にかけられた。馴染みの娼婦花枝(利根はる恵)から押収された木谷の手紙の一節は反軍的とみなされたのである。刑務所での苦しい生活から解放され戻ってきた木谷だが、中隊では木谷を知る者は古い下士官しかおらず、内務班の兵隊は年次が下の現役古参兵と初年兵の学徒兵、それに応召された中年の補充兵ばかりであった。古参兵は野戦行きの噂に怯え、学徒兵は慣れない兵隊生活に戸惑い、班内は荒れていた。

古参兵どもは、木谷がどこから帰って来たのか詮索しようとするが、本人が明かさないので、陸軍病院下番(退院)だと思っている。そのうちどこからともなく、陸軍刑務所に入っていたと分かり、しかも自分たちより軍隊生活の長い最古参の 4 年兵であると知って、班内は微妙な空気に包まれる。ある夜、班内で監獄帰りと揶揄した初年兵掛上等兵をさんざんに打ちのめした木谷は、4 年兵の権威をもって班内の全員を整列させ、「監獄帰りはそんなにおかしいのか」とわめきながら一人一人にピンタを見舞うのだった。孤立状態のなか、木谷はもとの經理室の要員を訪ねるのだが、皆に敬遠されてしまう。中隊事務室で事務補助をしている曾田一等兵(下元勉)は激しいリンチのまかり通る軍隊のことを、一般社会から隔離された『真空地帯』だと表現していた……

(解説)

原作『真空地帯』は野間宏の書き下ろし長編小説で、1952 年 2 月、河出書房から刊行され、毎日出版文化賞を受賞した。原作者は、1941 年大阪歩兵第 37 聯隊に入営後、43 年左翼運動の前歴を憲兵に詮索され、治安維持法違反容疑で軍法会議にかけられて、大阪陸軍刑務所に半年入所した。その時の体験が色濃く反映されている。また、監督の山本薩夫は、すでに東宝で演出家として働いていた

が、1945 年に応召され、千葉県佐倉市の佐倉連隊に二等兵として入営し、その後、中国で内務班に送られ、上官から理不尽な私的制裁を受けた経験をもっている。それだけに映画での私的制裁の描写はすさまじいものがあり、公開当時の「キネマ旬報」では「軍隊の狂気の秩序をつくりだす真空状況を力強くうつし出した」と評価している。

平成28度 第23回 鑑賞会

〈鑑賞日：2017・3・13〉

それでも夜は明ける 12 Years a Slave

製作： 2013年 米・英 上映時間 134分
監督： スティーヴ・マックイーン 脚本 ジョン・リドリ
出演： キウエテル・イジョフォー、マイケル・ファスベンダー
ベネディクト・カンバーバッチ、ルピタ・ニョンゴ
受賞： 第86回 アカデミー作品、脚色、助演女優賞

(あらすじ)

1941年、ニューヨーク州サラトガのソロモン・ノーサップ（キウエテル・イジョフォー）は自由黒人のヴァイオリニストだった。彼は、妻と子供二人と順風満帆な生活を送っていた。ある日、ノーサップは二人組の男たちから金儲けのできる周遊公演に参加しないかと誘いを受けた。ある夜、彼は二人組の男たちに薬漬にされ昏睡状態のまま奴隷商人に売られてしまう。彼は自分は自由黒人だと主張したが、材木商のウィリアム・フォード（ベネディクト・カンバーバッチ）に売られてしまう。農場主でもあったフォードは信仰心厚く温和人で、ノーサップは教養が高くヴァイオリンも弾けるので特に目をかけていた。

しかし、農園の監督ジョン・ティビッツは常にはいいがかりを付け、たまりかねたノーサップは暴力を振るってしまう。ティビッツは報復行為を執ように続けるので、フォードは仕方なくノーサップを別の農園の支配人エドウィンに売ることにした。フォードと異なり、エドウィンは陰湿な性格で綿花栽培のノルマを決め、達成できない奴隷を鞭で叩いた。ノーサップはひたすら耐え、その間、白人でありながら奴隷に落ちたアームスバイを信用して裏切られ、苦難の日が続くが、カナダ人大工のサミュエル・バスに出会ったことから風向きが変わってきた……

(解説)

原作は1853年に発表された。1841年ワシントンDCで誘拐され、奴隷として売られた自由黒人ソロモン・ノーサップによる12年間の奴隷体験記をもとに書かれた。12年の間、彼はルイジアナ州のプランテーションで働かされたのである。

今日でもアメリカの人種差別は根強いものがあり、当初この映画の製作はパラマウント社の予定であったが、社内会議で、黒人の奴

隷映画では興行収入が見込めないとのことで断られ、ブラッド・ピットの関係するプランBが製作した。興業成績が危惧されたが、制作費2,000万ドルに対し、興業成績は5,160万ドルと制作費の倍の成績を収めている。世論、批評家の評価も高く、アカデミー作品賞をはじめ、ゴールデングローブ作品賞、英国アカデミー作品賞を得ている。

平成28年度 第24回 鑑賞会

〈鑑賞日：2017・3・27〉

娘・妻・母

製作：1960年 東宝

上映時間 123分

監督：成瀬巳喜男

脚本：井手俊郎、松山善三

出演：三益愛子、高峰秀子、原節子、団令子、森雅之、宝田明、淡路恵子、
仲代達矢、加東大介、草笛光子、小泉博、杉村春子、太刀川寛、
中北千枝子、上原謙

(あらすじ)

東京、山の手の代々木上原あたり。その住宅街に坂西家がある。一家には、60歳になる母親あき(三益愛子)を中心に、会社では部長の長男勇一郎(森雅之)と妻の和子(高峰秀子)、子供の善郎、それにブドウ酒会社に勤める末娘の春子(団令子)が住んでいる。また、商家に嫁に行った長女の早苗(原節子)は夫との仲がうまくいかず、夫が会社の慰安旅行中のため、実家に遊びに来ていた。早苗は、この里帰り中、夫を交通事故で亡くし、毎月、5千円の生活費を入れて、実家に住みつくことになった。一方、勇一郎は、兄弟、姉妹に内緒で家を抵当にして借りた金を町工場をやっている妻の和子の叔父鉄本(加東大介)に融資し、その利息を生活の足しにしていた。更に鉄本から50万円の借金を申し込まれ、その金の用立てを早苗に頼んだ。早苗は承諾した。ある日、早苗、春子、次男の礼二(宝田明)と妻の美枝(淡路恵子)らは甲府のブド

ウ園に遊んだ。案内は礼二の友人の醸造技師の黒木(仲代達矢)。彼は早苗に好意以上のもの感じた。東京に帰って、早苗は母の還暦祝いを買いに銀座に出かけた。学友の菊(中北千枝子)に誘われて入ったフルーツパーラーで彼女の知り合いという身だしなみのよい中年の紳士、五条(上原謙)に紹介された。母親の還暦祝いの日、早苗に黒木から電話があり、二人は上野の美術館に行った。帰り道、二人は礼二のアパートに寄ったが、礼二が留守だった。礼二の部屋で黒木は早苗に接吻をした。その頃、鉄本が勇一郎からの借金を踏み倒して失踪した。青くなった勇一郎は家族会議を開いた。母親にも内緒で家を抵当に入れ金を借りた兄の勇一郎を兄弟たちは責めたが、勇一郎はただあやまるばかりである。二週間後にはこの家を出なければならなくなった。家族会議は母親あきの面倒を誰が見るかに話が及んだ……

(解説)

東京の山の手の中産階級の一家を題材にして、家族間の人間関係のやりきれない複雑な側面を描いた成瀬巳喜男監督のホームドラマである。脚本は東宝の中堅作家の井手俊郎と高峰秀子の夫君の松山善三が担当したオリジナルである。当初、『豪華絢爛 17人の大スター登場』の触れ込みで映画は作られたが、いかにも登場人物が多すぎる。坂西家の子供は5人、長女と三女以外はそれぞれの妻や夫が

加わり、嫁、姑の軋轢や、夫の浮気も盛り込まれたため、物語の展開が混乱する。一見、何の不自由もない平和な家庭でも、金銭がからむと親子、兄弟の間でもトラブルが生ずるという冷めた成瀬監督の狙いも生かされず、中途半端な作品となった。長女早苗を演じた原節子は当時40歳。小津作品とは異なり、暖かな、人間味に富んだ演技を見せてくれた。

平成29年度 第1回 鑑賞会
〈鑑賞日：2017・4・10〉

グラディエーター GLADIATOR

製作：2000年製作 米国 上映時間 155分
監督：リドリー・スコット
原案：デヴィッド・フランゾーニ
脚本：デヴィッド・フランゾーニ、ジョン・ローガン、ウィリアム・ニコルソン
出演：ラッセル・クロウ、ホアキン・フェニックス、コニー・ニールセン、オリヴァー・リード、リチャード・ハリス
受賞：アカデミー作品、主演男優賞（R・クロウ）、衣装デザイン、録音、視覚効果賞

（あらすじ）

西暦180年、皇帝マルクス・アウレリウスのローマ帝国時代。平民出身の将軍マキシマス（R・クロウ）は、ゲルマニア遠征で、蛮族との決戦で勝利を収めた。ローマ帝国第16代皇帝マルクス・アウレリウス（リチャード・ハリス）は老境を迎えており、膨張を続けるローマ帝国の将来を案じていた。自分の後継者としては皇太子コモドゥス（ホアキン・フェニックス）はその器でないと考え、皇位をマキシマスに譲るとコモドゥスに伝えたところ、コモドゥスは父親を暗殺し即位し、自分は皇帝だと宣言した。コモドゥスはマキシマスを捕え、処刑を命じるが、マキシマスはその手を逃れ、故郷に帰る。しかし、妻と子供は殺されていた。衰弱と絶望のため、倒れたマキシマスは奴隷商人の手に渡る。剣闘士（グラディエーター）を派遣する奴隷商人プロキシモ（オリヴァー・リード）に買われ

たマキシマスは、元来有能な剣闘士であったことも幸いし、めきめきと頭角を現す。皇帝として君臨するコモドゥスは、元老院の反対を無視してローマに自らの娯楽のための巨大コロシウムを作り、剣闘士を戦わせた。「戦績を積み重ねれば皇帝に会える」とプロキシモから聞いた復讐に燃えるマキシマスは戦いに励んだ。いくつもの厳しい戦いを勝ち抜いたマキシマスはコモドゥスと対面した。コモドゥスはマキシマスが生きていたことに驚き、民衆の前で処刑しようとするが、すでに、観衆の人気者になっているマキシマスを送すことは観衆が許さない。コモドゥスは実の姉ルッシラ（コニー・ニールセン）を愛しているものの、ルッシラの息子ルシアスを殺そうと企んでいた。ルッシラはマキシマスに協力を求めた……

（解説）

ローマ帝国時代を題材とした『ベン・ハー』（1959）、『スパルタカス』（1960）から、40年ぶりのローマ帝国時代の歴史時代劇である。実在したコモドゥス帝の時代を虚実様々な仕掛けでエンターテイメント時代劇に仕上げた。デヴィッド・フランゾーニが原案と脚本の初稿を書き、脚本家二人の協力を得て、オリジナルな脚本とした。監督のリドリー・スコットはCG（コンピューター・グラ

フィック）を用いて古代ローマ時代を再現し、キレの良いアクションと、独自の映像の世界を創り、大スペクタクル活劇とした。主演のR・クロウはこの映画のために18キロ減量し、筋肉を鍛え、剣闘士に挑んだ。その甲斐あってクロウはアカデミー主演男優賞を得、リドリー・スコットの卓越した演出力は作品賞をもたらした。

平成 29年度 第2回 鑑賞会

〈鑑賞日：2017・4・24〉

蝉しぐれ

製作：2005年 「蝉しぐれ製作委員会」
配給：東宝 上映時間 131分
監督：黒土三男
原作：藤沢周平
脚本：黒土三男
出演者：市川染五郎、木村佳乃、ふかわりょう、今田耕司、緒方拳、原田美枝子

(あらすじ)

江戸時代、東北の小藩「海坂藩」。普請組の組屋敷で15歳の文四郎(市川染五郎)は下級武士である義父助佐衛門(緒方拳)、母登世(原田美枝子)のもと、親友の小和田逸平(ふかわりょう)、島崎与之助(今田耕司)らと剣術や学問に励み、隣家に住む幼なじみのふく(木村佳乃)に淡い恋心を育んでいた。助佐衛門夫妻には子がいないため、登世の姉の子、文四郎を養子としたのである。文四郎は義父助佐衛門を尊敬しており、父のようになりたいと思っていた。しかし、平穏な日々は突然破られた。義父助佐衛門が藩の世継ぎの争いに巻き込まれ、反逆罪として切腹を命じられた。父の遺体を引き取りに行った文四郎は一人で荷車を曳いて帰途についた。急な坂で難儀しているとき、途中でふくが現れ、後ろを押してくれた。文四郎親子は事の真相がわからぬま

ま、禄高を減らされ、住んでいた家を追われ、古びた長屋に移された。その頃、ふくは江戸屋敷で、奥に勤めることになった。ふくは別れを告げに文四郎を訪ねてきたが、文四郎が不在のため会えず、江戸に旅立った。

1年後、義父助佐衛門の旧友藤井宗蔵の計らいで元服が行われ、さらに翌年、義父を死に追いやった家老里村から呼び出しがかかり、出向くと旧禄に復し、郡奉行を命じられ、住まいも与えられた。ある日、学問の修業を終えて江戸から戻ってきた与之助からふくの話を聞いた。ふくは藩主の手が付き、身籠ったが流産した。しかし、再び藩主の子を妊娠し、出産して今は櫛御殿という藩主の別宅に身を隠しているという。数日後、文四郎は里村から呼び出しがあり、ふくの産んだ子を攫ってくるよう命じられた……

(解説)

原作に惚れこんだ黒土三男が、映画化を志してから15年がかりで映画化に挑み、その執念が実を結んだ力作である。東北の小藩「海坂藩」の青年武士、牧文四郎は藩の勢力争いの犠牲となった父親を亡くしながらも、剣を磨き、学問に励み、懸命に生きてきた。その清々しい生き方が観る者の胸を打つ。藤沢周平の原作について、解説を書いた文芸評論家の湯川豊氏は「まれにみるとしかいいようのない、青春小説である」と記している。文四郎、逸平、与之助の幼なじみの三人の友情の絆は強い。映画の主題もお家騒動より三人の生き方に重点を置き、文四郎とふくの淡い恋

心は自分たちの置かれた境遇のなかで美しく開花する。冒頭のふくが蛇に中指を咬まれ、文四郎がその咬まれた中指の傷口を吸うシーンの二人の心情は映画の柱の一つになっている。だから、義父の遺体を文四郎が荷車に乗せて一人で曳いて帰る際、ふくだけが後ろから押してくれたことも、文四郎は忘れられない。藩主の側室と藩主の家臣という身分の違いという境遇のなかで、ひととき、二人の心は結ばれる。これも青春小説である。登用された市川染五郎、ふかわりょう、今田耕司。木村佳乃ら若手俳優陣がしっかりと演じ、期待に答えている

「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No.17

江口 正彦

独自コース 45 番「早春の曾我丘陵から曾我梅林へ」(通算 127 回)

みかん山と相模湾に囲まれた、風光明媚な国府津から、富士山の眺望を道づれに曾我物語で有名な曾我兄弟のゆかりの地まで歩きました。梅やみかんの産地でもある緩やかに起伏する曾我丘陵ではみかんは終わり夏みかんと梅の花そしてキウイ畑(最近無農薬栽培で増)と素晴らしい富士山が見られました。そして早春には 3 万 5 千本の梅が咲き誇る曾我梅林を楽しみました。

実施日：平成 28 年 2 月 16 日(木) 天候：快晴

歩行距離など：歩行時間 約 5 時間 歩行距離 約 13km 参加者：24 名(男性 16 名 女性 8 名)

コース所在地：神奈川県小田原市

交通：往路：横浜駅 8:02 発⇒戸塚駅 8:12 発⇒大船駅 8:18 発⇒国府津駅 8:48 着
復路：下曾我駅 15:06 発⇒国府津駅 15:15 着 15:30 発⇒大船駅 15:45 着(解散)

コースと時間：国府津駅 8:55⇒9:05 菅原神社(挨拶・体操)⇒10:00 西山農道⇒10:40 上町隧道⇒11:00 見晴台⇒11:35 六本松跡(昼食)12:00⇒12:10 伝蘇我裕信宝篋印塔⇒12:50 城前寺⇒13:25 二宮尊徳遺髪と「小袖乞い」伝承地⇒13:50 別所梅林(ティータイム)14:20 発⇒14:40 下曾我駅

ご存じでしょうか！

小田原梅(曾我の梅)は、今から 600 年以上も前の北条氏の時代にはじまるらしい。なんでも、梅の実を兵糧用にするため、城下に多くの梅の木が植えられたのだとか。江戸時代には、旅人が箱根八里を越える際に弁当が傷むのを防ぐため、また、道中での喉の渇きをいやし、疲労回復の必需品として使用されていたことから「東海道中膝栗毛」にも小田原の梅が登場します。

小田原梅の中で「十郎梅」は、小田原で育種・命名された小田原オリジナル品種で、肉が厚くやわらかいことから、梅干し用品種の最秀品とされています。神奈川県農事試験場園芸部で足柄上郡の在来実生より選抜され、昭和 35 年に小田原市梅研究会が命名した。十郎梅の開花期は特に早く 1 月下旬から 2 月上旬にかけて、果実は楕円形で小さく果皮が薄い分、果肉は良好で果肉歩合が高く、熟すにしたがって緑色から黄色に変化します。収穫は、6 月中旬から下旬にかけて行われます。

丘ゆかば麓に梅林先に富士 一椀



曾我梅林(別所梅林)



曾我丘陵からの梅と富士山

独自コース46番「日の出山を経てつるつる温泉へ」（通算128回）

日の出山は東京都青梅市と日の出町の境にある標高902mの山で、山頂からの展望がよく天気の良い日は都心が遠望でき、このため首都圏からのハイカーにも人気があります。初日の出の登山者も多い山です。今回はウイルスで全伐採され、2016年に再植樹された梅の公園（吉野梅郷）から日の出山に行くルートで登りました。途中でニホンカモシカに出会いました。天気も良く頂上からの眺めは素晴らしいものでした。下りは日ノ出町に下り、美肌の湯“つるつる温泉”に立ち寄り、さっぱりと汗を流したあと 懇親会で山旅の疲れをとりました。つるつる温泉はPH9.9のアルカリ泉で温泉に入るとつるつるというよりぬるぬるでした。

実施日：平成29年3月17日(金) 天候：晴

歩行距離など：歩行時間 約5時間 歩行距離 約13km 参加者：17名(男性11名 女性6名)

コース所在地：東京都日の出町

交通：往路：川崎駅 6:54 発⇒立川駅 8:11 発⇒青梅駅 8:44 発⇒日向和田駅 8:51 着

復路：つるつる温泉 17:30 発⇒武蔵五日市駅 17:50 着 解散

(参考) 武蔵五日市駅 18:04 発⇒立川駅 18:51 発⇒川崎駅 19:46 着

コースと時間：日向和田駅 9:00⇒9:20 梅の公園（挨拶・体操）9:35⇒9:40 琴平神社鳥居⇒10:25 琴平神社 10:30⇒11:17 梅の木峠（昼食）11:50⇒13:00 日の出山（フルーツタイム）13:20⇒14:23 林道（つるつる温泉側日の出山登山口）⇒14:45 つるつる温泉、15:00～17:15 入浴と懇親会⇒17:30 トレーラーバス青春号⇒武蔵五日市駅 17:50 着

ご存じでしょうか！ 顎掛岩（あごかけいわ）

日の出山の山頂からすこし下ったところに、人の顔を掘った50センチほどの岩がある。

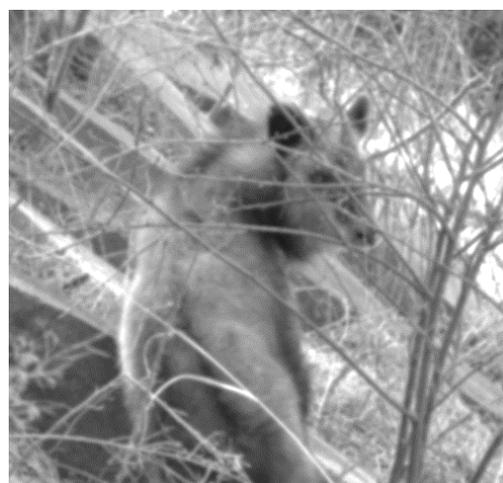
あごかけ岩と呼ばれ、あごの部分が欠けている。

むかし、日本武尊（ヤマトノミコト）が、はるばる関東へやってこられたとき、御岳山へ行く途中ここを通りかかった。ふりかえると、広い関東平野が一望に見わたせた。尊は、この広い平野を平定され、さらに信濃へ向かおうとされていた。「おう、はるばる来たものだ。」尊は、この岩にあごを掛けてひと休みされた。ここから先は、けわしい秩父の山々ばかりである。行く手を阻むかのように、御岳山や大岳山がそびえていた。どんな苦難が待ちうけているのか。尊は、ひそかに心をひきしめ御岳山への道をのぼって行った。

春うららゆるり登頂日の出山 一瞥



日の出山山頂



ニホンカモシカ

独自コース 47 番「奥多摩むかし道」(通算 129 回)

甲州裏街道とも呼ばれた青梅街道は、江戸時代には重要な生活道路でした。その中の氷川と小河内を結ぶ道は、現在「奥多摩むかし道」としてハイキングコースになっています。今も随所に昔そのままの姿が残っており、昔をしのぶ道として貴重な存在です。奥多摩の山と多摩川の新緑及び桜・ツツジ他多くの花々そして、地藏・観音・道祖神・不動尊・神社などが多くあり奥多摩の昔をしのぶことが出来ました。

実施日：平成 29 年 4 月 20 日(木) 天候：晴

歩行距離など：歩行時間 約 4 時間 歩行距離 約 9.4 km 参加者：20 名(男性 14 名 女性 6 名)

コース所在地：東京都 奥多摩町

交通：往路：JR 川崎駅 6:54 発—7:53 立川着 青梅線 立川発 8:01—8:32 青梅発 8:44 奥多摩着 9:22 バス 9:30 奥多摩湖着 9:45

復路：奥多摩 15:25 発⇒立川駅 15:56 着 解散

コースと時間：奥多摩湖(小河内ダム)準備体操、トイレ、10:15 出発—むかし道水源 10:30—

浅間神社 11:10—道所橋(吊り橋) 11:50—成田不動尊、昼食 12:10~12:40—弁慶腕

抜き岩 13:10—バス停橋詰の上(オレンジタイム) 13:30~13:55—^{さいかちぎ} 槐木 14:20~14:25

—奥多摩駅到着 14:50

ご存じでしょうか！ 東京水道局小河内線・小河内ダム

東京水道局小河内線は小河内ダムの建設用資材輸送用に東京都水道局が敷設・管理した貨物線であり、昭和 27 年に開通し、昭和 32 年まで運行していた。ダム竣工後は西武鉄道へ譲渡され、さらに奥多摩工業へ譲渡され、現在は「水根貨物線」として遺構が残っている。運行期間はわずか 5 年半のみという地味な鉄道路線であったが、東京の水がめである小河内ダムの完成に重要な役割を果たした。

小河内ダムは大正 15 年に将来の大東京実現を予想して水道事業上の百年の長計を樹てるべきだとし調査が開始された。昭和 7 年、東京市会で小河内ダム築造計画が決定された。工事は、昭和 13 年に付け替え道路工事が始まり、順次進み、しかしこれも戦争で昭和 18 年に中断されたが、昭和 23 年に再開された。28 年に本体の定礎式があり、竣工式は 32 年 1 月。現在も東京の水瓶として活躍している。

山深く春の彩り「むかし道」 一祝



バス停橋詰め上



東京水道局小河内線

「浮雲俳句会」

抄録 NO.35

代表 北野 清市

106 回例会 平成 29 年 1 月 29 日

〔 秀作 〕

天賞

富士五湖や映す寒富士影五景 重 九

大景を俯瞰した秀吟。〈富士五湖〉は、富士山の北の山麓にある山中・河口・西・精進・本栖の五湖をいう。いずれも富士山の噴火によって溶岩が流れ、山麓の窪地に水がたまり、もしくは川が堰き止められてできた湖である。〈寒〉は、寒の入りから節分までの30日間、いわゆる寒の内の寒さを表現するものである。掲句は、ばらばらの五つの湖を上5で「や」切りにして、一つのものとして纏め、中7・下5で五つの具体的な描写を試みている。それは五つの富士を五つの影として捉えているのである。

地賞

波の華千枚田の空駆けのぼり あきえ

厳寒の波打ち際の景。〈波の花〉は、冬場の日本海の現象。ひねもす荒れ狂う北西の季節風により、特に越前能登周辺の海辺では、荒く激しい波によって泡状になるのだ。そして崖の上に〈千枚田〉のあるような処では強風による泡状の波が、崖上に〈駆け上って〉来るのだ。荒れる海・迫力のある〈波の花〉だ。ただただ大自然の強大な力に感服するのみである。

人賞

冬の朝ひと息染める空の藍 和 女

寒い冬の早朝の実感を描写した佳吟。〈冬の朝〉は晩冬の「時候」の季語。日の昇る頃が最も寒く身に凍みる。空気がぴんと引き締まった潔い感じすらするのだ。掲句は、このような状況を〈ひと息染める〉〈空の藍〉と表現している『枕草子』にも、「冬はつとめて、雪の降りたるはいうべきにもあらず、霜のいと白きもまたさらでもいと寒きに、火など急ぎおこして、炭もてわたるもいとつきづきしい。」と、冬の朝の様子を詩的に表現しており、これらが永らく日本人の心情として支え継がれてきた。

特選

富士五湖の紫紺の黙に寒の月 とも女

富士五湖へは、今までに夏数回、冬は1回訪れました。何度見ても、湖に映える富士山の美しさは、他に比べようがなくピカイチです。特に、冬に聳える雪富士は、また格別です。昼間富士五湖巡りをした後、湖岸のホテルに宿泊し、夜半の湖を眺めることができました。夏は、夜になっても、あまり静寂さが感じられなかったと記憶しています。しかし、冬は、さすが気温も急激に下がり、灯もわずかになり、湖は、紫紺の景色に変わりました。ふと空を見上げると、月が出ていました。今まで見た月の中で一番明るく輝いていたように思います。

上弦の寒月凜と富士五湖へ 一 馬

今年（2017年）の正月、私の一番の感動は1月2日の宵の明星でした。金星が月齢5日の蛾眉に最接近した模様を新聞・ラジオ等も伝えたようですが、何しろあれ程鮮明な上弦の月を見たのは何十年振りかでありました。初句会の兼題として「富士五湖」を頂戴しましたが、私には2日の宵の明星の印象が忘れられず、ついこれまでに瞰下したこともない富士五湖たちとその感動を共有したいという想いに駆られたのです。

春間近ステップ軽ろきルンバかな 勇 平

大寒の寒さのピークも過ぎ、三日寒くても四日間は暖かい日が続く。そして、日脚は毎日確実に伸びて来る。個人的には一年を通じこのころが一番好きだ。身体を動かしたくなるのもこのころで、ルンバのリズム2・3・4、2・3・4と軽くステップを踏みたくなる。若かりしころ聴いたザビア・クガーの演奏する♪マイショー

銜して待つを覚えし四温かな 二 祥

春が待たれるこの時期、誘われ二宮町の吾妻山に。菜の花も冠雪の富士山も素晴らしかったですが、この日は寒さも二日続きで緩み正に三寒四温。山峡で大きな声を出すと三、四呼吸後、銜がかえってくるように待つ事の自然を受け入れ、穏やかに、静かに春の訪れを待つ心境を季語「四温」を使い詠みました。

乾坤に満つ大寒の息づかひ 十 九

二十四節季の一つ大寒は、もとより一年で最も寒さ厳しい極寒の時候であり、それ故にまた、その強烈で鋭い季の力を詩的に捉え句に仕立ててみたいと、挑戦する時に、多くの人が、岩のように立ちはだかる龍太の名句を意識せざるを得なかった経験を持ったのではなかろうか。そこで考えついたのが、大寒に人格を付与することで、修辞として「息づかひ」を選定してみた。それ自体には、ある程度の手応えを感じたが、繋ぎとして三つ並んだ「乾坤」、「満つ」、「大寒」という措辞に、些かの膨らみ・歩幅の緩みが出てしまったのではないかとの思いが残っている。

107 回例会 平成 29 年 2 月 26 日

〔 秀作 〕

天賞

春三日月星ひとつ乗せ漕ぎ出せり あきえ

宇宙の幻想的なワンシーン。月が火星を周辺に従えている画は、ときどき見かける。しかし、火星を月という船の上に乗せる画は、めったにお目にかかれない。それだけに神秘的であり驚天動地するのだ。「永遠の宇宙をながめわが命かえりみれば点にもならず 梅地和子」。上弦の三日月だからこそ船の形になり、その上に火星すなわち〈星ひとつ乗せ〉〈漕ぎ出〉したのである。驚きだ！ 春三日月万歳！

地賞

地野火走る地震の裂きたる道に浴ひ 十九

地震の爪跡を描写した佳吟。熊本地震は発生から一年が経過した。〈熊本地震〉は、H28年4月14日熊本県中部において発生。M6.5の地震(前震)があり、次いで4月16日M7.3の地震(本震)があった。そして死者50人、災害関連死170人。4万棟以上の住宅が全半壊して最大18万人が避難した。なお、崩れた熊本城の天守閣もやっと足場が組み立てられ復旧工事が本格化中。

この地震の特徴は、活断層による直下型地震であり、H23年3月11日に発生した東日本大震災(M9)の断層地震とはタイプが異なる。東日本大震災の断層地震はまさに地球の断層によるもので震源地は深く、広い範囲に及ぶが、活断層による直下型地震は、震源が浅く、かつ、範囲も狭い。この点、熊本地震は4月30日までに、何と震度1以上の地震が1000回以上も発生している。

いずれにせよ掲句の場合、〈地震の裂きたる〉〈道に浴ひ〉野火が走っているのだ。早期の正常化を祈る！

人賞

蒼天を独り占めせし梅真白 和女

梅二月を代表する写実的な佳吟。〈梅〉は、百花に先駆けて咲く春告草である。香りが高く気品のある清楚な花である。日本人には非常に愛され、『万葉集』では花といえば梅のことであった。中国でも尊重され、桜に比べて風雅のこのみが一段と濃く、花の期間も長い。「うめ一輪一りんほどのあたたかさ 嵐雪」など多くの先人の句が残されている。掲句は、冬から春の安定した天候になり、〈蒼天〉に透き通ったような青空をバックに、白梅が〈独り占め〉して春を告げているのである。花どきが長く風雅の極みである。

特選

熱爛の手元震へる春二番 三洋

五十年來の旧友数人と春待ち酒をとともにした。みんな年相応に老いてしまったけれど談笑しているうちに少年だった頃の面影がオーバーラップする。さしつさされて、時間があつという間に過ぎていく。幹事のK君がお開きの音頭をとる。感激してなのか、病気なのか、K君の手元が震えている。外は春二番の風が吹いている。

恋猫の恋の駆引よもすがら 重九

春になると動物たちは出来るだけ優れた子孫を残すため恋の活動が活発になる。最近私の住む地域も高齢化が進み、犬の飼育に責任が持たなくなり飼犬が減って飼猫が増える傾向にあるようだ。小宅では犬を飼い始めて半世紀近くになるが、犬の面倒が見きれなくなりそうになり数年前に犬の飼育を止めた。猫はあまり好きではない。静かな夜、突然ギャオーギャオーと恋猫のすざましい声に驚かされる。それも夜もすがらである。子孫繁栄のための神聖な行為とは言え、中々寝付けなくて悩まされる。恋は静かにやってほしいものだ。

武家屋敷崩れし土塀梅白し

二 祥

九州・筑前の城下町、朝倉市秋月の武家屋敷跡、その昔はそれなりの武士の屋敷だったのでしょ。今は手入れもされず荒れ放題、白壁も土色の土塀になり、朽ちかけて一部は崩れた処もみられる。そんな屋敷跡にも毎年この時期、梅一輪白く咲いている。物の儂さと自然の力を対比して詠みました。大袈裟かなあ。

薄氷を割りて駆け出すランドセル とも女

都会では、冬でも、自然に水が凍るさまをめったに見ることができないが、寒中に、気温が急激に下がった日があった。この句は、散歩中に見かけた風景である。公園の中に水遊び場があり、夏は、水が張っていて、子供の憩いの場になっている。冬は、水も少なく子供の姿は見られない。そこを通りかかったとき、三人のランドセルを背負った子供が「きゃあきゃあ」と、声を出しながら、水場の薄氷を掬っては外に出し、踏みつぶしていた。パリパリという音を楽しんでいたようだ。急に一人が「あっ」と声を発し、一目散に走っていった。残りの二人も続いて走り去った。果たして学校に間に合ったのかな。天気予報によると、その日は一番気温が低かったとのことだ。

下手投げ曲球多投の臥竜梅 勇 平

春先に咲く代表的な花は梅であるが、梅の品種は多種多様である。総じて梅は定期的に剪定が必要のようである。しかし、掲句の臥竜梅という梅は枝振りは千変万化。幹は地を這い枝は曲がりくねっており、剪定には骨が折れるのでは……。因みに、竜がふす姿に見てとれるから、この名が付いたといわれている。臥竜梅を野球に例えるなら、投手の投げるボールは曲がりながら右に落ち左に落ち、滑るように曲がる。臥竜梅のごとくに。

108 回例会 平成 29 年 3 月 26 日

〈 秀作 〉

天賞

春陰の霞ヶ浦に水脈白し 和 女

季感を十二分に発揮した本格的な写生句。〈春陰〉は、春の曇り空のことをいい、全体に暗いイメージである。一般的には、春光燦々と明るい春の「表」の俳句として、創造するのが通例である。しかし、掲句は、春陰と「裏」の一句として構成している。そのうえ暗いイメージの〈春陰〉を〈水脈白し〉の明るいイメージと対比しているのだ。いずれにせよ、空は暗いイメージの〈春陰〉であるが、湖面は明るいイメージの〈水脈白し〉なのだ。飾らない力量抜群な一句に霞ヶ浦が彷彿とする。

地賞

竜天に登ると見ゆる飛行機雲 一 馬

俗信の季語を活用した秀作。〈竜天に登る〉は大変珍しい季語。春の精気に乗じて竜が昇天するという俗信からきたもの。そのうえ昇天した竜は、秋になると“竜淵に潜む=季語”と淵に帰ってくるのだ。作者は、青空高く白くて長く漂う雲を見て、一瞬〈竜天に登る〉さまではないかと思ったが、それは〈飛行機雲〉のいたずらであったのだ。

人賞

霞ヶ浦七つボタンの桜貝

あきえ

追憶に耽けさせる 17 音。特に〈七つ釘〉といえば、懐かしい「予科練」＝少年航空兵を思い出す。予科練習生は、昭和 5 年第一期生 80 人（5800 人の志願者の中から）が誕生。横須賀の海軍航空隊で特訓を受けた。その後は、昭和 14 年に掲句の霞ヶ浦に移設、順次全国 20 か所に増校されている。“同期の桜 “の “貴様と俺とは同期の桜、同じ兵学校の庭に咲く。咲いた花なら散るのは覚悟” ……と続き、在りし日の予科練の追憶に耽るのだ。

特選

朧めく霞ヶ浦の遠筑波

とも女

霞ヶ浦は、日本で第二の大湖である。先日、早春の霞ヶ浦を訪れたが、想像していたよりはるか大きいのに驚いた。ホテルの送迎車で、湖岸を一時間ばかり巡ってもらったが、ほんの一部であった。目の前に広がる霞ヶ浦の先には、筑波山がはっきり見えた。夕暮れが迫ってきて、ほんのり薄紫がかった筑波山は、穏やかな湖と和して、春の風物詩である。暫し立ち尽くし、カメラに収めた。

峠より遙か一望春田晴

二 祥

JR 高山本線で旧美濃と飛騨との国境に「宮峠」のトンネルがあります。ここは分水嶺として知られています。数年前高山の妻の実家に向かう列車でトンネルを超えるところから見た情景の記憶を呼び戻し句作しました。標高 700 メートル越えの峠からはようやく残雪も消え、一望高山盆地の春田が広がり、遙かな山々が実に鮮やかに見える。

大阿蘇の噴煙なびく春田水

十 九

肥後平野の一角菊鹿平野は、遙かに九州山脈を望み、春夏秋冬折々の季節の装いを、一望に敷き広げては、そこに日々の生活の場を持つ人々の心を慰め、癒し、生きる歓びを与えてくれた。それはまさしく、私にとって心の奥深くに刻み込まれた魂の故郷である。田植えを前に、鋤き起こされ掻き均された田に灌漑の水が張られると、そこは広々と輝く大地の水鏡となった。その水面に、あるいは北へ、あるいは南へと靡く阿蘇の噴煙が映し出された。それは、あの大地震の後も変わらぬ悠久の故郷の風景である。

被災の子友の写真と卒業す

勝 美

2011 年 3 月 11 日東日本大震災が発生、生後間もない乳児から高齢者まで多くの者が旅立ってしまった。6 年たった今も災害時のテレビ放送が流れると涙なしではいられない。一緒に学び遊んだ友が目の前から居なくなってしまった。友の写真と共に卒業式に出席した映像が忘れられない。

青き尾の蜥蜴穴出で睥睨す

重 九

春になると土の中などで冬籠りしていた虫たちが出てくる。蜥蜴も然り。しかし、どの穴からか見たことがない。庭石の上に首を高くもたげてじっとしている尻尾の青い蜥蜴を見つけた。久しぶりに見る世界を首を高く伸ばして目だけを動かして見ているのだろうか。まるで小宇宙を睥睨しているように感じた。

検索サイトについて第9回で簡単に説明しました。今回は、その内の Google についてそのサービスの内容を説明します。

Google のトップページは下に示すとおり中央に検索バーがあるだけです。検索バーに調べたい文言を入力して「Enter」キーを押せば検索結果が表示されます。



Google サイトは、素っ気ない作りですが、膨大なサービスを内蔵しています。右上図のメニュー（3x3 の点で構成されたマーク）をクリックしてください。そうすると Google が提供する 10 件のサービスが右上図のように表示されます。下部にある「もっと見る」ボタンをクリックするとさらに 10 件のサービスが表示されます。その下部の「さらにもっと」ボタンをクリックすると約 40 件のサービスの説明が現れます。これらのサービスの主なものを順次説明します。



Gmail

Gmail : Google が提供するメールサービス。パソコンだけでなく、タブレットやスマホでも利用できます。競合サービスにはマイクロソフトのOutlook.comやYahoo!のYahoo!メールなどがあります。



マップ

マップ: インターネット上で世界中の地図を見ることができる最大級の地図提供サービス。自分の住んでいるマンションや自宅周辺の建物が表示されるなど、驚くほど細かい場所まで

見ることが可能です。また、公共交通機関の経路案内を利用できます。さらに「ストリートビュー」と言う主要道路から路地裏まで撮影した画像を表示するサービスもあります。マウスをクリックして道路を進み、360度周囲を見渡すことができます。



Google Chrome

Google Chrome : Googleが開発した Web ブラウザー。

使い方が非常にシンプルで、軽快に Web サイトを表示することができます。新しいタブを開くと閲覧回数の多い Web ページをサムネイルつきで表示する機能や、複数のパソコンでのブックマークや設定の同期といった機能も備えています。さらに、拡張機能で機能を強化することができます。



YouTube

YouTube : お気に入りの動画や音楽を探して、再生、共有できる世界最大の動画共有サイト。自分で作成した動画をアップロードしたり、キーワードで動画を検索できます。



カレンダー

カレンダー : インターネット上で作成する予定表。複数の端末で同期が出来、友だちとイベントを共有したりすることができます。



フォト : 容量無制限・無料で使用できる写真用オンラインストレージ。アプリをインストールしておくともパソコンに保存した写真を自動的に Google フォトにアップロードします。この写真を時系列に並び替え、アルバムや動画を作成してくれます。写真や動画の保存場所の URL を送って友人と写真を共有

することができます。



翻訳

翻訳 : サイト上で入力した文章を英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、中国語や韓国語など、世界

55 の言語に翻訳するサービス。入力はキーボード以外に、音声でも可能。短いテキストの他、ウェブページ全体の文章を翻訳する事が出来ます。



ブックス

ブックス : 書籍の全文検索サービス。書籍内の全文を対象に検索を行ない、検索された書籍の内容の一部

(著作権切れの書籍であれば全ページ) が無料で表示されます。著作権保護期間が存続している書籍は、書籍の一部がプレビュー表示され、同時に書籍販売サイトへのリンクが表示されます。



Earth

Google Earth : 地球上を 3D で見渡すことができるアプリ。このサイトからアプリをダウンロードしてパソコンにインストールすれば、マ

チュピチュ遺跡やエジプトのピラミッドを見ることができます。



Google Scholar : 学術資料の検索サービス。分野や発行元を問わず、学

術出版社、専門学会、大学などの学術専門誌、論文、書籍、要約、記事を検索できます。

これらのサービスは基本的に無料で利用できます。あらかじめ Google ID を取得して Google の会員になっておくと、マップ、YouTube、Gmail、カレンダー、フォト等で会員向けサービスを利用することができます。

「日本開国と北方領土」

代表 真田 雅行

平成28年（2016年）12月17日の日露首脳会談で、「特別の制度に基づく北方四島での共同経済活動」についての日露協議を開始することで合意した。

安倍首相は「新しいアプローチ」をキャッチフレーズに四島を含めた平和条約の締結の意義を強調したが、プーチン大統領は平和条約の締結が必要だとは述べたものの、肝心の領土問題については平和条約締結後に歯舞、色丹の二島を日本に引き渡すとした1956年の日ソ共同宣言について「どのような形で二島をひきわたすか明確に定義されていない」とする従来の主張を繰り返し、二島の主権までも渡すか分からないというゼロ島返還の立場から一步も引かなかつたし、更に日米安全保障条約の存在にも触れ、ロシアが自国の安全保障に懸念を抱いていることも主張した。

この会談で日本が得たものは領土問題の解決に直接つながる合意は何もなく、僅かに「シベリア開発を含む経済協力」という餌の細い糸で辛うじて繋がっているにすぎないといえる。

ロシアはコサック兵により獲得した広大なシベリア及び極東の開発が国の発展のためには至上命令なのである。

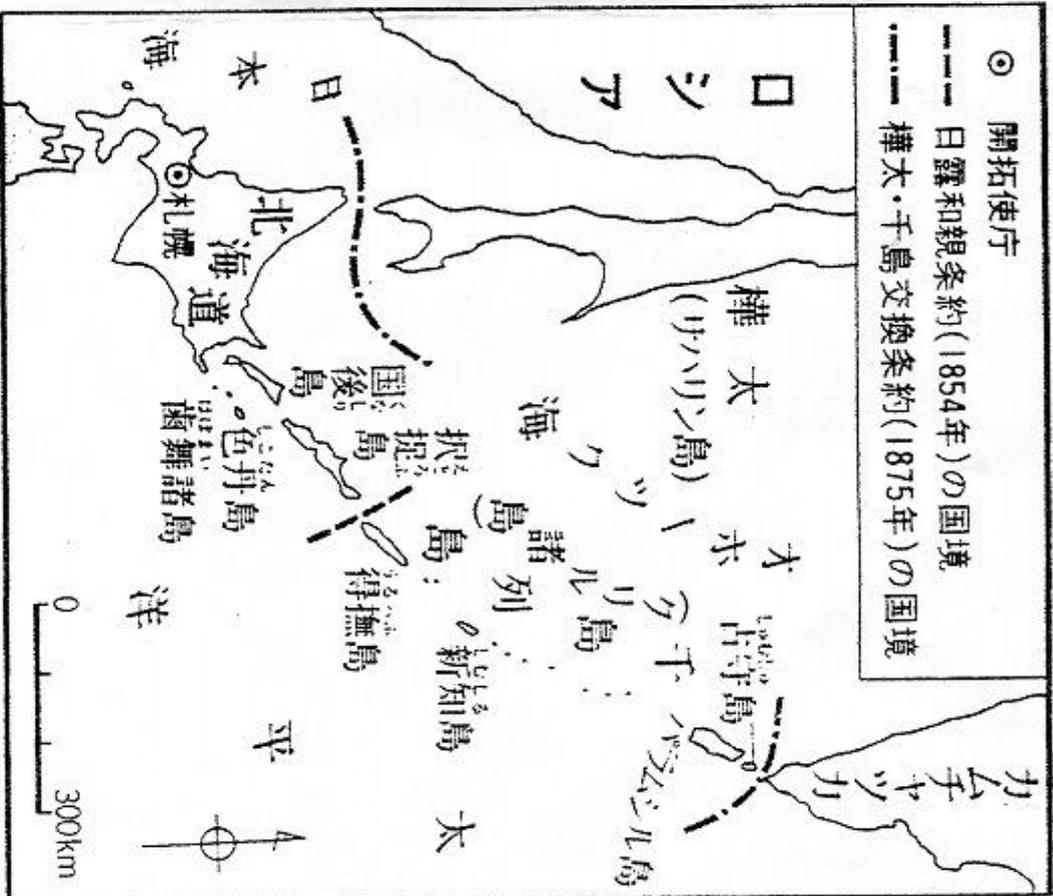
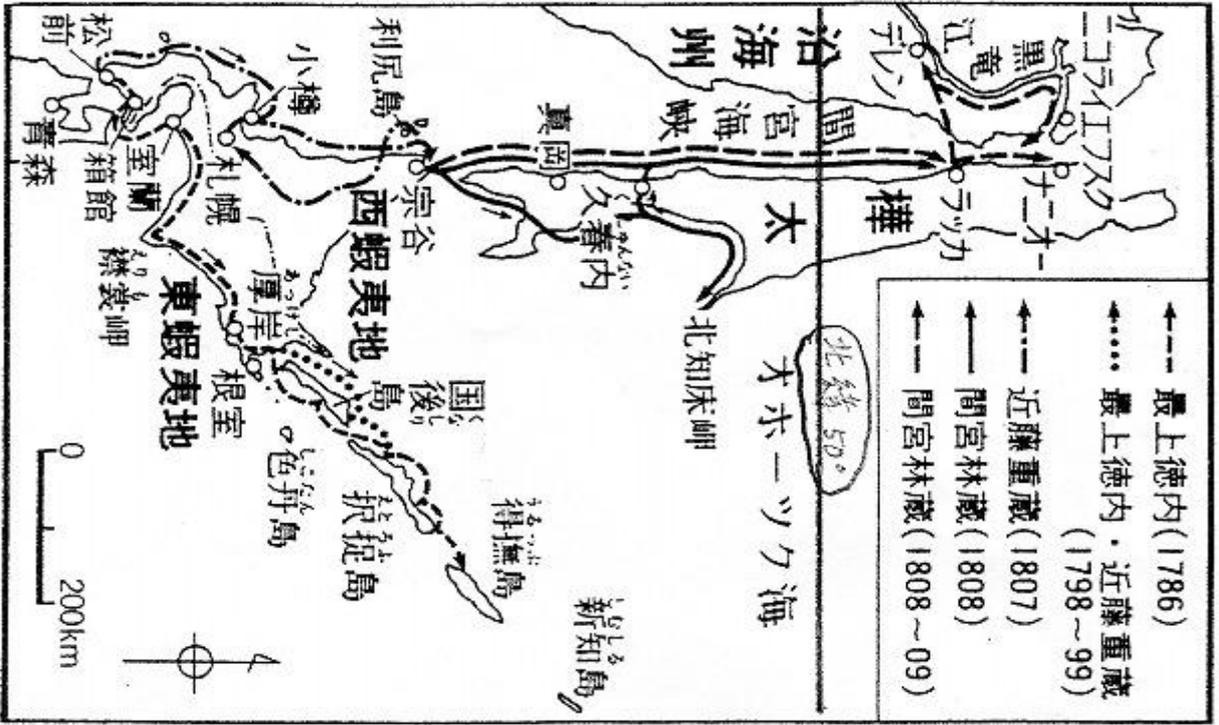
一昨年私はある催しで「日本開国と北方領土」について講演を行ったが、調べれば調べるほど旧ソ連を含むロシアの主張に憤りを感じたが、一方でロシア人やロシア国の生い立ち、考え方、背景等について、ヤルタでの秘密協定等に基づき日ソ中立条約を破棄して対日参戦し、千島列島を占領し、しかも何十万人もの日本人をシベリア抑留して強制労働させたロシアの理不尽に対して日本は感情的になりすぎて、日露間に横たわる基本問題、本質について国民に理解が十分には行きわたっていないのではないかと感じた。

私はこれらのロシアのやり方の背景には、一つには日露戦争の敗戦に対するロシアの仕打ちがあるような気がして仕方がない。

北方領土四島は歴史的にみても日本の固有領土だとして、四島の帰属をロシアに認めさせて早く返してほしい日本と、四島の帰属は第二次大戦の結果だとして返したくないロシア、総合的にみてこの北方領土問題が正に日露間の諸問題に象徴的に集約されていると思う。

出発点において両国の主張がかみ合っていないのである。

以下に一昨年行った講演会で使用したレジュメを披露して参考に供したい。



北方関係要図

開国と北方領土

1. 江戸時代の北方領土紛争

《年次》	《ロシア》	《アメリカ》	《イギリス》	《日本の対応》
1778 (安永7)	蝦夷地厚岸 (あつけし) に来船。(シベリア食料調達の為通商を求む。)			松前藩は拒否。領国が理由。幕府危機意識高まる 工藤兵助 (仙台藩医) 蝦夷開拓を説く 幕府最上徳内等に蝦夷、千島、樺太調査・探検を命ず 幕府・異国船対処の基本方針出す (穏便方針)
1783 (天明3)				老中松平定信、通商要求拒否。長崎入航許可書。 林子平 (『海国兵談』で海防を説く) を罰す 近藤重蔵千島探検 (「大日本エトロフ」標柱を建つ) 半年待たせ最終的に幕府拒否。レザノフを追返す
1786 (天明6)				幕府「異国船取扱令」を出す。(穏便方針継続)
1791 (寛政3)				日本危機感。幕吏と津輕藩、宗谷・択捉守備隊強化
1792 (寛政4)	9月、ラクスワン等根室へ来航。(大黒屋幸太夫等引渡、求通商)			幕府「異国船取扱令」を出す。(穏便方針継続)
(シベリア開発のため日本からの食糧調達・交易を求む)				
1797 (寛政9)	択捉 (エトロフ) 島へ上陸			長崎奉行松平康英引責自殺
1804 (文化元)	使節レザノフ長崎へ来航 (求通商。アレクサンダー一世親書携行)			幕府は会津・仙台藩に蝦夷守備を命ず
1806 (文化3)	ロシア船海軍中尉ゾオストロフ樺太襲撃 (上司レザノフの指示、拉致・捕虜、掠奪)			1813年、ゴローニンと高田屋嘉平とを交換
1807 (文化4)	ゾオストロフ択捉島へ上陸し日本会所を襲撃 (拉致・捕虜、掠奪等海賊行為)			異国船打払令 (除オランダ・清・朝鮮・沖縄)
1808 (文化5)				幕府浦賀で砲撃し撃退 高野長英、渡辺崋山 幕府の外交政策非難し処罪 清敗北・香港割譲 (1842) で日本への影響大 幕府「薪・木給与令」(打払令緩和) 布告
1811 (文化8)	軍艦国後 (クナシリ) 島に来航 (ゴローニン逮捕)			同時に大名・旗本ほかに海防一層強化を命令
1818 (文政元)				ピットブル艦隊浦賀来航 (求中国への寄港地、薪木補給)
1824 (文政7)				
1825 (文政8)				
1837 (天保8)				
1838 (天保9)				
1840 (天保11)				
1842 (天保13)				
1846 (弘化3)				

ロシア

アメリカ

日本

1853 (嘉永6) 7月プチャーチン長崎へ来航。 **6月3日ペリー提督黒船艦隊浦賀来航(砲艦・恫喝外交)**

1854 (嘉永7/安政元) _____ 1月15日ペリー再来。 **3月3日日米和親条約**

① 1854 (安政元) 12/21日 **日露和親条約**

1858 (安政5) **ロシア箱館に領事館設置** 初代領事ハリス横浜で日米修好通商条約締結。

1861 (文久元) ロシア、対馬の港租借を要求

1867 (慶応3) アラスカをアメリカに売却 アラスカを720万ドルで購入

(国防上世界一安全な国→世界一危険な国へ)

ロシア・英国等とも締結 (11/27より安政元年)

択捉とウルツブ島間を日露国境とし、樺太は両国雑居地

日本開国。 1859 (安政6) **横浜開港**

2. 明治以降の日露(日ソ)関係の推移

② 1875 (明治8) **樺太・千島交換条約。** (日本とロシアの国境画定条約。ロシアの満州・朝鮮への進出急)

1902 (明治35) 日英同盟締結。 **ロシアの南下牽制。** 但し日露開戦してもイギリスの中立条項あり。

1904 (明治37) **日露戦争始まる。** 戦費37億円。旅順・奉天に続き日本海海戦で日本勝利。

③ 1905 (明治38) **講和条約締結(於ポーツマス)。** 韓国での日本の指導権を認め、旅順・大連の租借権、長春以南の鉄道と付属の利権を日本に譲り

北緯50度以南の南樺太の領有権を日本に譲り、沿海州とカムチャツカの漁業権を日本に認める。但し賠償には応じず。日比谷彦打事件。

1914 (大正3) 第一次世界大戦勃発。日本は日英同盟を理由に連合国側について参戦。 1916 (大正5) 年シベリア鉄道開通。

1917 (大正6) ロシアで革命。ソヴィエト社会主義政権誕生しドイツと単独講和して大戦より脱落

1925 (大正14) 日ソ基本条約でソ連との国交樹立。

1939 (昭和14) 8月 独ソ不可侵条約。9月第二次世界大戦勃発。

1941 (昭和16) 4月 日ソ中立条約締結。6月 独ソ戦争開始。12月8日 **太平洋戦争勃発。**

1943 (昭和18) 米英中 **カイロ宣言、** 敗戦後の日本領土をはじめて規定。ソ連対日戦未参加のためソ連に対する北方地域にはふれていない。

④ 1945 (昭和20) 2月 **ヤルタ協定。** ポイツ処理問題協定。秘密協定でルーズベルトの要請により、外モンゴルの現状維持と南樺太・千島のソ連帰属

を条件にソ連の対日戦参加を決定。5月ドイツ降伏。8月8日ソ連日ソ中立条約を破棄し対日宣戦布告、満州・樺太・千島へ侵入開始。

8月8日 ソ連日ソ中立条約を破棄、160万のソ連軍が満州国境から総攻撃開始。

8月11日 ソ連樺太の北緯50度を越え、35千が南進、2万の日本軍と交戦。

8月14日 **ポツダム宣言受諾を連合国に通知。** 15日 天皇の玉音放送。

8月18日 ソ連軍千島シュムシユ(占守)島上陸、25千の日本守備隊と交戦、南下し、27日までにウルツブ島、28日択捉島、9月1日に国後、色丹島に達し、5日南樺群島を占領してそのまま居座った。

3. 戦後の北方領土問題

1945年の日本敗戦時ないし敗戦後にソ連が衝舞、色丹、国後、択捉の4島を軍事占領したことが発端。ソ連の戦後処理のやり方に日本不信感。

⑤1951年のサンフランシスコ平和条約で日本が受諾したポツダム宣言において、日本の主権が本州、北海道、九州、四国及びその周辺の小島とされたことを受け台湾、朝鮮、樺太、千島の放棄がうたわれた。ソ連、中国は調印せず片面講和。日本は戦争を終わらせるため、引き続き平和条約締結のための交渉模索。

⑥1956年10月「日ソ共同宣言」により国交を回復し、平和条約締結後の講和、色丹の引渡に同意したが、領土問題で折り合わず平和条約に至らず。

1964年 外務次官通達で「南千島」の呼称に替え、四島一括して「北方領土」と呼称するよう指示。その後1990年まで交渉続行するも合意に至らず。

1991年 ソ連崩壊。新生ロシア誕生。ゴルバチョフ来日、共同声明「四島の帰属は双方の立場を考慮しつつ話し合い行つた」。初めて四島に言及。

⑦1993年10月「東京宣言」(エリツィン大統領と細川首相)、係争地が択捉、国後、色丹、歯舞でこの帰属確認後平和条約を結ぶ。

但し国際秩序の枠組みが崩れ、世界情勢が変わるたびにロシアの言い方が変わる。(スターリンの死、安保条約改定、日中国交正常化、ソ連崩壊、中ロ国境紛争解決等)——日ソ間に領土問題は存在しない、解決済みとして態度硬化。

双方の主張は平行線

日本： 北方四島はかつて一度もロシア領になったことがない。だから日本固有の領土である。ソ連が根拠に持ち出すヤルタ密約は日本に関係ない。サンフランシスコ条約は千島の放棄がうたわれているが、千島がどこに引き渡されるかを明記していない。ロシアはこれに調印していない。条約は千島の定義を定めていない。国後、択捉の潜在主権が認められれば衝舞、色丹2島先行返還でもよい。

ロシア： 現状は第二次世界大戦の結果であり、その結果生じた国境の変更は受け入れられない。

ヤルタの結果はポツダム宣言に引き継がれ、それを受諾した以上ヤルタの取極めも甘受しなければならない。ソ連がSF条約を調印していないから、といってそのことを否定することは出来ない。先に提案の二島の返還はあくまで日本人の利益のための友好的措置である。

東京宣言の「四島の帰属」を確認する、という文言は四島を日本に引き渡すことを全く意味していない。千島を発見し開拓したのはロシアだ。

打開策の模索

- (1) 中ソ国境紛争妥結の背景(政治的妥協に基いた最終決着：50：50。出来るところからやろう)を学ぶ。(2004年ブーチン・胡錦濤会談)
- (2) 方法は二島か、四島か、別の解決か(例えば三島か二島プラスαか)、潜在主権問題、二島先行返還し残りは継続交渉か。返還時期は?
- (3) エネルギー協力、漁業協力などの経済協力や、防衛交流、ビザなし交流など中広い信頼関係に基づく交流増進の中で解決を模索。
- (4) 双方の利益になると双方が認識しないと現状変更は困難? 両国の本気度。世論の動向。
最近のブーチン提案「双方引き分けにしよう」。岸田外相「引き分け案に賛成したい」。具体的内容不明だが放置すれば現状不変のまま推移。
年明けに実務者協議で合意。
- (5) 森前首相発言(11/14日)：相手が求める経済協力をすれば国益となる。四島返還を金科玉条の如く言うだけでは政府は動きにくい。

行事予定

2017年6月～2017年8月の予定

注：表中の「CC」は、「地区センター」の略

	6月	7月	8月
学習会	6月17日(土) 金沢CC 13:30～16:00 室町時代Ⅰ —上杉禅秀の乱— 国際日本文化センター 助教 呉座 勇一 氏	7月22日(土) 能見台CC 13:30～16:00 室町時代Ⅱ —永享の乱— 国際日本文化センター 助教 呉座 勇一 氏	8月5日(土) 県立金沢文庫 9:30～12:00 【訪問講座】 —国宝 称名寺聖教で 新羅仏教を学ぶ— 県立金沢文庫 主任学芸員 道津 綾乃 氏
寺社を巡る会	6月1日(木) 集合：江ノ電腰越駅 10:00 テーマ：江の島巡り 訪問先：満福寺、小動神社、 江の島神社、中津宮、 奥津宮等	7月6日(木) 集合：鎌倉駅東口 10:00 テーマ：義経と女性の物語 訪問先：教恩寺、畠山重忠邸址、 鶴岡八幡宮、鎌倉国宝館 等	8月3日(木) 集合：時間・場所未定 テーマ：DVD観賞 百寺巡礼
古文書を読む会	6月8日(木) 区役所 10:00～12:00 富岡村大胡家文書 6月22日(木) 区役所 10:00～12:00 和宮様御下向	7月13日(木) 区役所 10:00～12:00 富岡村大胡家文書 7月27日(木) 未定 10:00～12:00 和宮様御下向	8月10日(木) 未定 10:00～12:00 富岡村大胡家文書 8月24日(木) 未定 10:00～12:00 和宮様御下向
ふれあいの道歩こう会	6月8,9日(予備日 15,16日) 131回=独自コースNo.49 安達太良連峰縦走 福島県 二本松市	7月20日(予備日 21日) 132回=独自コースNo.50 宝永山トレッキング 静岡県	休 会 {夏休み}
懐かしの映画を観る会	6月12日(月) 金沢CC 12:15～ 喝采 6月26日(月) 金沢CC 12:15～ 天平の躰	7月10日(月) 金沢CC 12:15～ アンナ・カレーニナ 7月24日(月) 金沢CC 12:15～ レインマン	8月7日(月) 金沢CC 12:15～ 男はつらいよ(第1作) 8月28日(月) 金沢CC 12:15～ 七人の侍
浮雲俳句会	6月4日(日) 12:00～ 金沢CC 第19回金沢区民俳句大会への参加	7月30日(日) 9:30～ 能見台CC 第111回例会 テーマ 空母	8月27日(日) 9:30～ 能見台CC 第112回例会 テーマ 釣舟
パソコンを使いこなす会	6月13日(火) 金沢CC EXCEL 基礎講座 — 基本操作 — 6月20日(火) 金沢CC EXCEL 基礎講座 — グラフのアレンジ — 9:30～12:00	7月11日(火) 金沢CC Internet 実用講座 — Google Map — 7月25日(火) 金沢CC Internet 実用講座 — Google 検索 — 9:30～12:00	8月8日(火) 金沢CC Internet 実用講座 — LINE — 8月15日(火) 金沢CC 画像処理実用講座 — デジカメ画像の取り込み — 9:30～12:00

連絡先:

- ・学習会 090-6176-4543(内田) ・古文書を読む会 784-4900(真田) ・浮雲俳句会 774-3878(北野)
- ・ふれあいの道歩こう会 787-3250(江口) ・懐かしの映画を観る会 701-1606(佐藤)
- ・寺社を巡る会 046-866-3339(吉田寿) ・パソコンを使いこなす会 701-9775(林)

編集後記

私事ですが、H15年に“わ”の会に入会、あつかましくも10月から運営委員会に参加、11月発行の会報7号から編集に関わりしました。そして、この61号で会報編集から完全に離れます。着任以来、何代かの編集長の下で、“わ”の会および各分科会の機関紙として、“わ”の会・分科会・会員の3者を結ぶのが会報の役目と考え、“わ”の会本体・分科会・会員の動向を分かりやすく伝えよう心がけてきました。その結果として、今日の会報の姿に収斂してきたと思います。しかし、時間と共に“わ”の会本体・分科会・会員も変化し、それにつれて会報の姿も当然変化するべきです。状況に応じて姿を変えつつ、会員の皆様に親しまれ続ける会報であることを念じます。

(金間誠一)

発行日	平成29年(2017)5月13日
発行月	4回(2,5,8,11月)
発行者	金沢区生涯学習“わ”の会
編集長	鈴木 秀幸
編集委員	相川 勲 田中 徳明 柴崎 幸治 佐藤 和広 渡邊 紀一 山腰策次郎 江口 正彦